

令和元年度 市民意識調査

# 市政評価と市政要望

令和元年 12 月

北 九 州 市



## は じ め に

最新の市民意識の動向や、市民のニーズを的確に把握することは、よりよい市政の実現のために欠かせません。

このため、北九州市では、市政運営の基礎資料として「市政評価と市政要望」についてのアンケート調査を毎年行っています。

今年度の結果を見ますと、市政評価では、1位は「防犯、暴力追放運動の推進」で、4年連続1位となりました。2位は「ごみの適正処理とリサイクル」で、5年連続2位となりました。3位は「子育て支援の推進」で、2年連続3位となりました。

市政要望では、1位は「高齢社会対策の推進」で、7年連続1位となりました。2位は「子育て支援の推進」で、5年連続2位となり、3位は「産業の振興」で2年連続3位といった結果になりました。

この調査結果はこれからの市政運営に反映させていく所存です。

お忙しい中、アンケート調査にご協力くださいました皆さま方に、厚くお礼申し上げます。

令和元年12月

北九州市長 北 橋 健 治

# 目 次

I	調査の概要 .....	1
1	調査の設計 .....	1
2	調査の実施 .....	5
3	回収結果 .....	5
4	回答者の構成 .....	6
5	集計と地域区分 .....	7
II	調査の結果 .....	8
1	行政施策の評価 .....	8
2	行政施策への要望 .....	23
3	市政評価と市政要望の類型化 .....	40
資 料 編	.....	43
1	クロス集計表 .....	43
2	調査票 .....	81

# 「市政評価と市政要望」

## I 調査の概要

この調査は、市政全般についての市民の評価と要望を把握するため、昭和 42(1967)年度から継続実施している市民意識調査の一環として実施したものである。

調査方法は、昭和 61(1986)年度までの 20 回は、「広聴はがき」アンケートとして、往復はがきによる郵送調査で実施していたが、昭和 62(1987)年度からは、毎年実施する特定テーマの市民意識調査の付帯調査として同時実施の方法に改められ、この方法が現在まで継続されている。なお、今年度は、特定テーマの市民意識調査「市民のモラル・マナーについて」と併せて実施され、その結果は別途報告書が作成されている。

### 1 調査の設計

#### (1) 調査項目

「市政評価と市政要望」調査は、調査対象者に市の主要な事務・事業を提示し、この中から「よくなっているもの」(評価)、「今後、もっと力を入れてほしいもの」(要望)別にそれぞれ上位 3 項目を選択させる方法で調査している。また、選択肢として掲げる主要な事務・事業について、市民意識の経年変化を把握するため、調査項目の変更はできるだけ避けている。

しかしながら、時代の趨勢に伴い、市の主要施策や政策課題についてかなりの変化が生じたため、平成 3 年度と平成 13 年度と 2 回に渡り、選択肢として掲げる項目の検討・改定を行った。次いで、平成 13 年度の見直しから 9 年を経過した平成 22 年度調査では、平成 20 年 12 月策定の基本構想・基本計画「元気発進!北九州」プランの内容を反映するなどの改定を実施した。更に、平成 24 年度調査では、本市でも積極的に取り組みを進めている低炭素社会に関する項目「地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進」を追加している。

#### 主な改定内容

##### 平成 24 年度調査

追加	「地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進」
----	----------------------------

##### 平成 22 年度調査

追加	「ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) の推進」
分割・統合	救急医療体制の充実 → 「医療・衛生管理体制の充実 (救急医療、感染症対策など)」 保健・医療の充実 → 「健康づくりの推進 (検診、予防、食育など)」
分割	地域コミュニティづくりやボランティア・NPO活動の推進 → 「地域コミュニティづくりの支援」 → 「ボランティア・NPO活動の支援」
削除	水辺環境の整備 港やウォーターフロントの整備 情報化の推進 交通安全の確保 駐輪対策

「市政評価と市政要望」調査項目新旧対照表

旧（平成13年度～21年度）		新（平成22年度より）	
環境 ・ 景観	1 ごみの適正処理とリサイクル （⇒30） 2 大気・騒音・水質などの環境保全 （⇒31） 3 自然環境の保全と整備（⇒33） 4 水辺環境の整備（削除） 5 港やウォーターフロントの整備 （削除） 6 公園の整備など、緑のまちづくり の推進（⇒15） 7 都市景観の整備（⇒16）	子育て、 教育、 人材 育成	1 <u>子育て支援の推進</u> （変更） 2 学校教育の充実 3 青少年の健全育成の推進 4 学術の振興（学術研究都市の推進、 市立大学の充実など） 5 生涯学習の推進
少子 ・ 高齢 社会	8 高齢社会対策の推進（⇒10） 9 <u>少子化対策の推進（子育て支援な ど）</u> （⇒1） 10 障害者施策の推進（⇒11） 11 <u>保健・医療の充実</u> （⇒6, 12） （分割・統合）	健康、 安全 ・ 安心	6 <u>医療・衛生管理体制の充実（救急医 療、感染症対策など）</u> 7 防犯、暴力追放運動の推進 8 防災体制の充実（変更） 9 <u>消費者被害防止対策</u> （変更） 10 高齢社会対策の推進 11 障害者施策の推進 12 <u>健康づくりの推進（検診、予防、食 育など）</u> 13 <u>人権の尊重と男女共同参画（あら ゆる分野への女性の参画）の推進</u> （変更） 14 <u>ワーク・ライフ・バランス（仕事と 生活の調和）の推進</u> （追加）
教育 ・ 文化	12 学校教育の充実（⇒2） 13 生涯学習の推進（⇒5） 14 青少年の健全育成の推進（⇒3） 15 芸術・文化活動の振興（⇒20） 16 <u>生涯スポーツの振興</u> （⇒21）	快適 な暮 らし、 文化 ・ スポ ーツ	15 公園の整備など、緑のまちづくり の推進 16 <u>都市景観の整備（まち並みづくり と歴史的建造物の活用など）</u> （変更） 17 住宅供給の促進・快適な住環境の 整備 18 駐車対策 19 身近な生活道路の整備 20 芸術・文化活動の振興 21 <u>スポーツの振興</u> （変更） 22 <u>地域コミュニティづくりの支援</u> 23 <u>ボランティア・NPO活動の支援</u> 24 市役所の窓口サービスの向上

旧（平成13年度～21年度）		新（平成22年度より）	
産業 ・ 学術	17 学術の振興（学術研究都市の推進、市立大学の充実など）（⇒4） 18 <u>情報化の推進</u> （削除） 19 産業の振興（ <u>企業誘致</u> 、雇用の促進など）（⇒25）	産業	25 産業の振興（ <u>企業の誘致・成長支援</u> 、雇用の促進など）（変更） 26 <u>観光・コンベンション</u> （大規模な会議など）の振興（変更）
交流 ・ 物流	20 <u>交通体系の整備</u> （⇒29） 21 <u>交通・物流拠点</u> （空港・響灘大水深港湾など）の整備（⇒28） 22 市街地の整備・再開発（⇒27） 23 <u>国際交流の推進</u> （⇒34） 24 <u>観光・コンベンション</u> の振興（⇒26）	都市 基盤 ・ 物流	27 市街地の整備・再開発 28 <u>交通・物流</u> （空港、港湾など）機能の強化（変更） 29 <u>道路・交通ネットワーク</u> の整備（変更）
地域 ・ 生活	25 <u>地域コミュニティづくりやボランティア・NPO活動の支援</u> （⇒22, 23）（分割） 26 市役所の窓口サービスの向上（⇒24） 27 <u>人権の尊重と男女共同参画社会の実現</u> （あらゆる分野への女性の参画推進など）（⇒13） 28 防災体制の整備（⇒8） 29 <u>救急医療体制の充実</u> （⇒6）（統合） 30 <u>交通安全の確保</u> （削除） 31 <u>駐輪対策</u> （削除） 32 <u>駐車対策</u> （⇒18） 33 防犯、暴力追放運動の推進（⇒7） 34 <u>自立した消費者の育成</u> （⇒9） 35 <u>身近な生活道路の整備</u> （⇒19） 36 <u>住宅供給の促進・快適な住環境の整備</u> （⇒17）	環境	30 ごみの適正処理とリサイクル 31 大気・騒音・水質などの環境保全 32 地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進（平成24年度調査より追加） 33 <u>自然環境の保全と自然とのふれあいの推進</u> （変更）
		交流 ・ 連携	34 <u>アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり</u> （変更）

※ 下線は変更部分。

## (2) 標本設計

[調査対象者]

市内に居住する 18 歳以上の男女 3,000 人

※平成 27 年度までは 20 歳以上の男女を対象としていたが、公職選挙法等の一部を改正する法律（平成 27 年 6 月 19 日成立、平成 28 年 6 月 19 日施行）に合わせ、平成 28 年度調査より 18 歳以上の男女を対象としている。

[標本抽出]

平成 31 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳（806,451 人）をもとに 3,000 人を等間隔抽出

### 行政区別の設定標本数

区 分	居 住 人 口	抽 出 標 本 数	
			構 成 比
門司区	84,773 人	306 人	10.2 %
小倉北区	155,725	569	19.0
小倉南区	175,841	641	21.4
若松区	70,019	259	8.6
八幡東区	57,515	228	7.6
八幡西区	212,949	810	27.0
戸畑区	49,629	187	6.2
計	806,451	3,000	100.0

(注 1) 居住人口は 18 歳以上人口で抽出リード件数である。

(注 2) 構成比の単位未満は四捨五入で表示したため、計と各区の合計は必ずしも一致しない場合がある。

## (3) 調査方法

郵送調査法

## 2 調査の実施

### (1) 調査主体

北九州市広報室広聴課

### (2) 実査

調査開始 令和元年5月19日

督促状発送 令和元年6月3日

回答期限 令和元年6月15日

### (3) 集計・分析

集計、分析・コメントは、株式会社東京商工リサーチが実施した。

※数値の単位未満は四捨五入を原則としたので、総数と内容の合計は必ずしも一致しない場合がある。

## 3 回収結果

発送標本数 3,000 票のうち、回収標本総数は 1,209 票であった。このうち有効回収数は、1,201 票であり、有効回収率は 40.0%であった。(前年度は有効回収数 1,053 票、有効回収率は 35.1%)

なお、行政区別の回収状況は、下表のとおりである。

行政区別回収状況

区分	設定標本数	有効回収数	有効回収率
門司区	306 人	126 人	41.2 %
小倉北区	569	207	36.4
小倉南区	641	243	37.9
若松区	259	115	44.4
八幡東区	228	88	38.6
八幡西区	810	342	42.2
戸畑区	187	80	42.8
計	3,000	1,201	40.0

#### 4 回答者の構成

有効回収数 1,201 票の標本構成は、下表のとおりである。

#### 回 答 者 の 構 成

N : 1,201 人

性別	男性	女性	無回答				
	38.7% 465人	60.6% 728人	0.7% 8人				
年齢	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
	6.7% 81人	9.3% 112人	16.0% 192人	16.3% 196人	21.1% 253人	29.9% 359人	0.7% 8人
居住歴	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	10年未満	20年未満	30年未満
	1.3% 16人	0.4% 5人	0.2% 2人	3.7% 44人	4.7% 57人	11.2% 135人	13.3% 160人
	30年以上	無回答					
	64.5% 775人	0.6% 7人					
職業	自営業	自由業	会社員	公務員・教員	農・林・漁業	主婦・主夫 (パートなど)	主婦・主夫 (専業)
	5.9% 71人	1.0% 12人	26.1% 313人	2.8% 34人	0.3% 4人	16.7% 201人	18.5% 222人
	学生	無職	その他	無回答			
	1.3% 16人	22.0% 264人	4.5% 54人	0.8% 10人			
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	10.5% 126人	17.2% 207人	20.2% 243人	9.6% 115人	7.3% 88人	28.5% 342人	6.7% 80人

なお、平成 31 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳による 18 歳以上の北九州市民の性別、年齢、居住区の属性別構成は下表に示すとおりである。

これを、今年度調査の有効回収の標本構成と比較すると、性別では調査サンプルの男性が実態より 8.0 ポイント低い結果となっている。年齢別では、例年の傾向であるが、有効回答率の低さを反映したためか、10・20 歳代で調査サンプルが住民基本台帳の実態ベースより 6.8 ポイント低く、逆に 60 歳代では調査サンプルのウエイトが 4.9 ポイント高くなっている。なお、行政区（居住区）別では概ね両者間に大きな差はみられない。調査結果の解釈にあたっては、主にこの 3 点に関するウエイトの構成差異に留意されたい。

#### 平成 31 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳による人口構成（18 歳以上）

性別	男	女					
	46.7%	53.3%					
年齢	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
	13.5%	12.8%	16.4%	14.2%	16.2%	26.9%	
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	10.5%	19.3%	21.8%	8.7%	7.1%	26.4%	6.2%

## 5 集計と地域区分

### (1) 集計

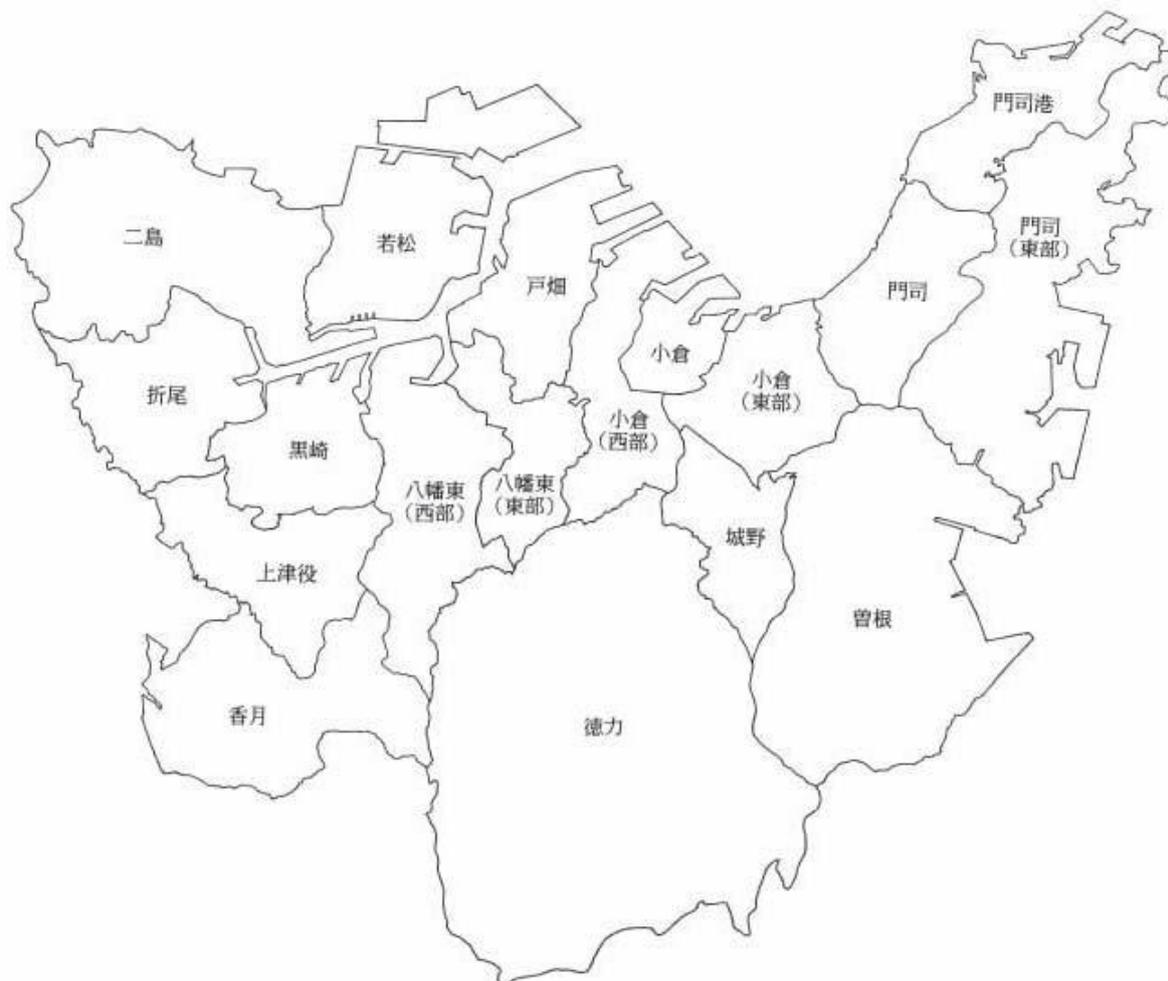
今年度調査も、前回までの調査に従って順位法で回答を求めたため、集計は1位に3点、2位に2点、3位に1点を付加したスコア計算によることとした。

また、前回までの調査との比較あるいは属性別、地区別などの比較は、それぞれ回答者数が異なり、スコアだけでは判断できないため、スコアを回答者数で割った平均スコア（最大3.000～最小0.000）を用いた。

### (2) 地域区分

市の事務事業についての評価、要望をより細かく把握するため、ここでは行政区を下図に示す18地区に分割し、検討することとした。

なお、本区分は、平成元年度まで選挙人名簿をもとに投票区単位で標本抽出を行っていたが、平成2年度調査からは、住民基本台帳における町丁目単位からの標本抽出に変更したため、平成元年度以前とは地域区分に若干の差異がある。



## II 調査の結果

### 1 行政施策の評価

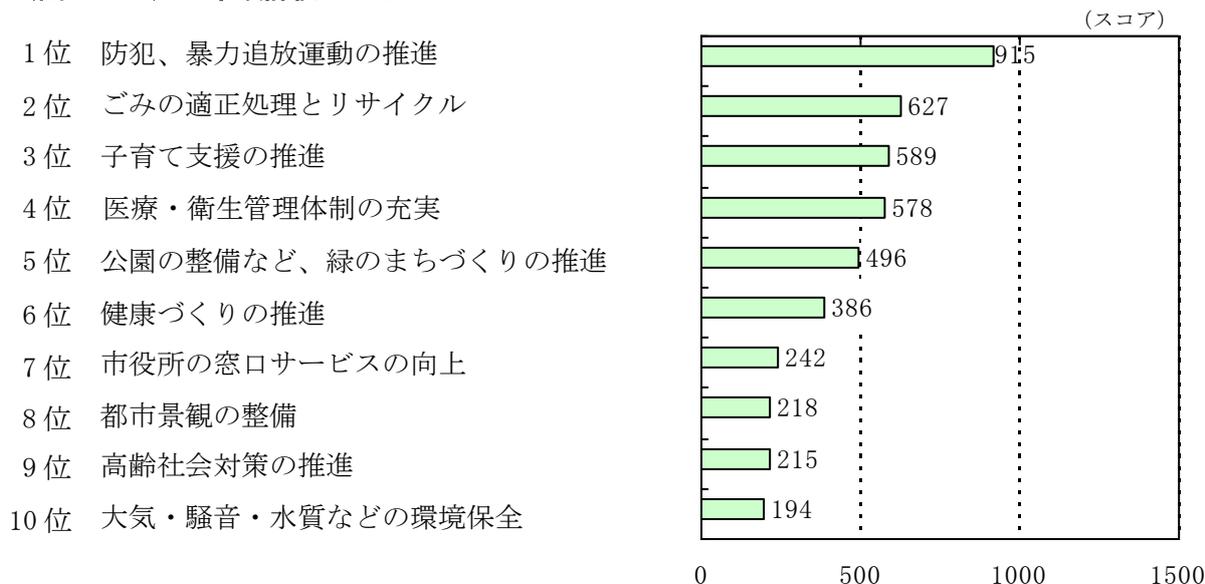
本調査では、北九州市が行っている施策や事業 34 項目のなかで、「以前に比べてかなりよくなっている」と思われるものを 1 位から 3 位まで回答を求めた。今年度の調査結果を上位順に示したものが（表 1-1）、上位 10 項目を棒グラフで表したものが（図 1-1）である。

（表 1-1） 「以前に比べてかなりよくなっている」もの

順位	調査項目	スコア (得点数)
1	防犯、暴力追放運動の推進	915
2	ごみの適正処理とリサイクル	627
3	子育て支援の推進	589
4	医療・衛生管理体制の充実（救急医療、感染症対策など）	578
5	公園の整備など、緑のまちづくりの推進	496
6	健康づくりの推進（検診、予防、食育など）	386
7	市役所の窓口サービスの向上	242
8	都市景観の整備（まち並みづくりと歴史的建造物の活用など）	218
9	高齢社会対策の推進	215
10	大気・騒音・水質などの環境保全	194
11	身近な生活道路の整備	182
12	学校教育の充実	179
13	観光・コンベンション（大規模な会議など）の振興	151
14	道路・交通ネットワークの整備	135
15	市街地の整備・再開発	121
16	スポーツの振興	105
17	学術の振興（学術研究都市の推進、市立大学の充実など）	103
18	交通・物流（空港、港湾など）機能の強化	101
19	防災体制の充実	98
20	芸術・文化活動の振興	96
21	地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進	88
22	生涯学習の推進	85
23	アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり	80
24	地域コミュニティづくりの支援	75
25	障害者施策の推進	58
26	住宅供給の促進・快適な住環境の整備	51
27	駐車対策	46
28	産業の振興（企業の誘致・成長支援、雇用の促進など）	43
29	ボランティア・NPO活動の支援	37
30	青少年の健全育成の推進	30
31	自然環境の保全と自然とのふれあいの推進	28
32	人権の尊重と男女共同参画（あらゆる分野への女性の参画）の推進	25
33	消費者被害防止対策	17
33	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	17

注) スコアは、1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点を合計したものの

(図1-1) 市政評価ベスト10



### (1) 調査結果の概要

まず、市民の評価が高かったベスト10を中心に結果をみると、1位は「防犯、暴力追放運動の推進」(スコア915)であった。平成5年度から26年度までは、22年連続で「ごみの適正処理とリサイクル」が1位であったが、「防犯、暴力追放運動の推進」は、より高い市民評価を得て平成27年度トップとなり、以降、今年度まで5年連続で最も高い市民評価を得る結果となった。

2位は「ごみの適正処理とリサイクル」(スコア627)であった。この項目は、前述のように平成26年度まで22年連続で1位であったが、平成27年度に2位となり、以降、今年度まで5年連続で同順位となった。全市民的な美化意識と環境意識の高まりを背景に、引き続き安定した市民評価を得ている様子がうかがえる。

3位は前年度3位の「子育て支援の推進」(スコア589)であり、この項目は平成27年度6位であったが、平成28年度、平成29年度と、年々1つずつ順位を上げ、今年度も前年度に引き続き3位となった。

これら上記3項目が、今年度の市政評価のベスト3となっている。

4位から10位までで前年度より順位を上げたのは3項目で、4位に入った前年度5位の「医療・衛生管理体制の充実」(スコア578)、8位に入った前年度11位の「都市景観の整備」(スコア218)、10位に入った前年度12位の「大気・騒音・水質などの環境保全」(スコア194)がそれぞれ順位を上げている。

一方、4位から10位までで前年度より順位を下げたのは2項目で、5位に入った前年度4位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」(スコア496)と、9位に入った前年度8位の「高齢社会対策の推進」(スコア215)が、ともに順位を1つ下げている。

このように、今回調査ではベスト3は前年度調査と変わらず、4位と5位および8位から10位の項目に順位の変動がみられた。なお、3位以下で順位に変動がなかったのは、6位の「健康づくりの推進」(スコア386)、7位の「市役所の窓口サービスの向上」(スコア242)の2項目であった。

## (2) 市政評価の推移

ここでは、市政評価の上位 10 位までの経年変化を概観し、次に順位の指標とは別に、項目ごとの評価の水準（高低）を比較可能にするため、総合得点を回答者数で割った平均スコアも加え、過去 3 年間の変化をみた。その結果、次のような特徴を指摘できる。(表 1-2) 参照

- ◇ 1位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、平成 27 年度以降、今年度で 4 年連続 1 位となった。平均スコアは、平成 29 年度 0.617 から前年度は 0.667 と上昇し、今年度は 0.762 と更に上昇した。
- ◇ 2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は、平成 27 年度以降、今年度で 5 年連続 2 位となった。平均スコアは、平成 29 年度は 0.468、前年度は 0.504 と上昇し、今年度は 0.522 と更に上昇した。
- ◇ 3位の「子育て支援の推進」は、平成 29 年度は 4 位となり、前年度は順位を 1 つ上げてベスト 3 入りをし、今年度も引き続き 3 位となった。平均スコアは、平成 29 年度の 0.419 から前年度は 0.494 に上昇し、今年度は 0.490 とやや下降した。
- ◇ 4位の「医療・衛生管理体制の充実」は、平成 29 年度は 6 位で、前年度は順位を 1 つ上げて 5 位となり、今年度は更に順位を 1 つ上げて 4 位となった。平均スコアは、平成 29 年度の 0.381 から前年度は 0.364 と下降し、今年度は 0.481 と上昇した。
- ◇ 5位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は、平成 29 年度は 3 位で、前年度は順位を 1 つ下げて 4 位となり、今年度は順位を 1 つ下げて 5 位となった。平均スコアは、平成 29 年の 0.445 から前年度は 0.405 と下降し、今年度は 0.413 とやや上昇した。
- ◇ 6位の「健康づくりの推進」は、平成 29 年度は 5 位、前年度は順位を 1 つ下げ 6 位となり、今年度も 2 年連続で 6 位となった。平均スコアは平成 29 年度の 0.386 から前年度は 0.341 に下降し、今年度は 0.321 と更に下降した。
- ◇ 7位の「市役所の窓口サービスの向上」は、平成 29 年度以降 3 年連続で 7 位となった。平均スコアは、平成 29 年度の 0.199 から前年度は 0.215 と上昇し、今年度は 0.201 と下降した。
- ◇ 8位の「都市景観の整備」は、平成 29 年度は 10 位だったが、前年度は順位を 1 つ下げ 11 位となり、今年度は順位を 3 つ上げ 8 位となった。平均スコアは、平成 29 年度の 0.169 から前年度は 0.155 と下降したが、今年度は 0.182 と上昇した。
- ◇ 9位の「高齢社会対策の推進」は、平成 29 年度、前年度と 2 年連続で 8 位だったが、今年度は順位を 1 つ下げ、9 位となった。平均スコアは、平成 29 年度の 0.179 から前年度は 0.175 と僅かに下降したが、今年度は 0.179 とやや上昇した。
- ◇ 10位の「大気・騒音・水質などの環境保全」は、平成 29 年度の 14 位から 2 つ順位を上げ前年度は 12 位となり、今年度は更に 2 つ順位を上げてベスト 10 入りした。平均スコアは平成 29 年度の 0.136 から前年度は 0.143 とやや上昇し、今年度も 0.162 と更に上昇した。

ベスト 10 圏外で過去 3 年間の経年変化をみると、「身近な生活道路の整備」は、平成 29 年度、前年度と 2 年連続で 9 位だったが、今年度は順位を 2 つ下げ、ベスト 10 圏外となった。「学校教育の充実」は平成 29 年度の 15 位から 2 つ順位を上げ前年度は 13 位となり、今年度は更に 1 つ順位を上げて 12 位となった。

(表1-2) 市政評価の経年変化

(評価)「以前に比べてかなりよくなっている」

[(順位)と平均スコア]

調査項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
子育て、教育、人材育成	1 子育て支援の推進	(4) .419	(3) .494	(3) .490
	2 学校教育の充実	(15) .120	(13) .142	(12) .149
	3 青少年の健全育成の推進	(32) .030	(27) .045	(30) .025
	4 学術の振興(学術研究都市の推進、市立大学の充実など)	(12) .151	(14) .133	(17) .086
	5 生涯学習の推進	(17) .106	(20) .088	(22) .071
健康、安心・安全	6 医療・衛生管理体制の充実(救急医療、感染症対策など)	(6) .381	(5) .364	(4) .481
	7 防犯、暴力追放運動の推進	(1) .617	(1) .667	(1) .762
	8 防災体制の充実	(24) .057	(26) .053	(19) .082
	9 消費者被害防止対策	(30) .034	(34) .019	(33) .014
	10 高齢社会対策の推進	(8) .179	(8) .175	(9) .179
	11 障害者施策の推進	(25) .051	(24) .058	(25) .048
	12 健康づくりの推進(検診、予防、食育など)	(5) .386	(6) .341	(6) .321
	13 人権の尊重と男女共同参画(あらゆる分野への女性の参画)の推進	(29) .036	(33) .025	(32) .021
14 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	(34) .019	(32) .028	(33) .014	
快適な暮らし、文化・スポーツ	15 公園の整備など、緑のまちづくりの推進	(3) .445	(4) .405	(5) .413
	16 都市景観の整備(まち並みづくりと歴史的建造物の活用など)	(10) .169	(11) .155	(8) .182
	17 住宅供給の促進・快適な住環境の整備	(27) .044	(23) .060	(26) .042
	18 駐車対策	(31) .032	(29) .039	(27) .038
	19 身近な生活道路の整備	(9) .177	(9) .159	(11) .152
	20 芸術・文化活動の振興	(18) .097	(17) .118	(20) .080
	21 スポーツの振興	(13) .143	(18) .113	(16) .087
	22 地域コミュニティづくりの支援	(26) .047	(28) .043	(24) .062
	23 ボランティア・NPO活動の支援	(28) .042	(31) .029	(29) .031
	24 市役所の窓口サービスの向上	(7) .199	(7) .215	(7) .201
産業	25 産業の振興(企業の誘致・成長支援、雇用の促進など)	(23) .062	(22) .069	(28) .036
	26 観光・コンベンション(大規模な会議など)の振興	(11) .159	(10) .158	(13) .126
都市基盤・物流	27 市街地の整備・再開発	(16) .117	(15) .123	(15) .101
	28 交通・物流(空港、港湾など)機能の強化	(20) .086	(19) .093	(18) .084
	29 道路・交通ネットワークの整備	(21) .081	(21) .070	(14) .112
環境	30 ごみの適正処理とリサイクル	(2) .468	(2) .504	(2) .522
	31 大気・騒音・水質などの環境保全	(14) .136	(12) .143	(10) .162
	32 地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進	(19) .089	(16) .121	(21) .073
	33 自然環境の保全と自然とのふれあいの推進	(33) .029	(30) .037	(31) .023
交流・連携	34 アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり	(22) .067	(25) .055	(23) .067

注) 順位: 1位3点、2位2点、3位1点を合計した順位(表1-1)をそのまま表示

平均スコア: 1位3点、2位2点、3位1点を合計し、回答者数で割ったもの

(表1-2) 市政評価の推移 (上位10位)

( ) 内は得点数で、1位3点、2位2点、3位1点として計算

順位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	防犯、暴力追放運動の推進(871)	防犯、暴力追放運動の推進(741)	防犯、暴力追放運動の推進(702)	防犯、暴力追放運動の推進(915)
2位	ごみの適正処理とリサイクル(728)	ごみの適正処理とリサイクル(562)	ごみの適正処理とリサイクル(531)	ごみの適正処理とリサイクル(627)
3位	健康づくりの推進(547)	緑のまちづくりの推進(534)	子育て支援の推進(520)	子育て支援の推進(589)
4位	緑のまちづくりの推進(511)	子育て支援の推進(503)	緑のまちづくりの推進(426)	医療・衛生管理体制の充実(578)
5位	子育て支援の推進(464)	健康づくりの推進(463)	医療・衛生管理体制の充実(383)	緑のまちづくりの推進(496)
6位	医療・衛生管理体制の充実(416)	医療・衛生管理体制の充実(457)	健康づくりの推進(359)	健康づくりの推進(386)
7位	大気・騒音・水質などの環境保全(269)	市役所の窓口サービスの向上(239)	市役所の窓口サービスの向上(226)	市役所の窓口サービスの向上(242)
8位	市役所の窓口サービスの向上(258)	高齢社会対策の推進(215)	高齢社会対策の推進(184)	都市景観の整備(218)
9位	都市景観の整備(244)	身近な生活道路の整備(213)	身近な生活道路の整備(167)	高齢社会対策の推進(215)
10位	観光・コンベンションの振興(235)	都市景観の整備(203)	観光・コンベンションの振興(166)	大気・騒音・水質などの環境保全(194)

11位	地球温暖化対策などの推進(210)	11位 観光・コンベンションの振興(191)	11位 都市景観の整備(163)	11位 身近な生活道路の整備(182)
12位	高齢社会対策の推進(193)	12位 学術の振興(181)	12位 大気・騒音・水質などの環境保全(151)	12位 学校教育の充実(179)
13位	学校教育の充実(185)	13位 スポーツの振興(172)	13位 学校教育の充実(150)	13位 観光・コンベンションの振興(151)
14位	学術の振興(183)	14位 大気・騒音・水質などの環境保全(163)	14位 学術の振興(140)	14位 道路・交通ネットワークの整備(135) ※H30年度21位
15位	身近な生活道路の整備(182)	15位 学校教育の充実(144)	15位 市街地の整備・再開発(130) ※H29年度16位	15位 市街地の整備・再開発(121)
16位	スポーツの振興(182) ※同スコア15位			

### (3) 属性別にみた特徴

今年度調査における市政評価の回答結果を対象者の属性別にみていくと、以下のような特徴を指摘することができる。(表1-3) 参照

#### ① 性別

- ◇ 総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、前年度は男性1位、女性3位であったが、今年度は男女ともに1位となった。平均スコアは、男性(1.067)が女性(0.571)を上回った。前年度(男性0.884、女性0.497)と比べると、男女とも前年度を上回った。
- ◇ 総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は、前年度は男性3位、女性1位となったが、今年度は男女ともに3位となった。平均スコアは、女性(0.534)が男性(0.495)を上回っている。前年度(男性0.429、女性0.570)と比べると、男性は前年度を上回ったが、女性は下回っている。
- ◇ 総合3位の「子育て支援の推進」は、前年度は男女ともに2位であった。今年度は男性4位、女性1位と、特に男性の順位が下がったが、女性の順位は上がった。平均スコアは、女性(0.571)が男性(0.366)を上回っている。前年度(男性0.451、女性0.531)と比べると、女性は上回っているが、男性は下回っている。
- ◇ 総合4位の「医療・衛生管理体制の充実」は、前年度は男性4位、女性6位であった。今年度は男性2位、女性4位と、男女ともに順位を上げた。平均スコアは、男性(0.499)が女性(0.475)を上回っている。前年度(男性0.379、女性0.341)と比べると、男女ともに前年度を上回った。
- ◇ 総合5位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は、前年度は男性5位、女性4位であったが、今年度は男女ともに5位となった。平均スコアは、女性(0.468)が男性(0.333)を上回っている。前年度(男性0.342、女性0.452)と比べると、女性は前年度を上回ったが、男性は前年度を下回った。
- ◇ 総合6位の「健康づくりの推進」(男性6位、女性6位)、及び総合8位の「都市景観の整備」(男性9位、女性9位)は、男女で同順位であった。  
一方、総合7位の「市役所の窓口サービスの向上」(男性8位、女性7位)、及び総合9位の「高齢社会対策の推進」(男性10位、女性8位)は男性より女性の順位が高く、総合10位の「大気・騒音・水質などの環境保全」(男性7位、女性12位)は、女性より男性の順位が高かった。

#### ② 年齢別

- ◇ 総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、前年度は30歳代で3位、それ以外の各年齢層で1位だった。今年度は30歳代から60歳代で1位、10・20歳代、70歳以上で2位であった。前年度と比べると、30歳代の順位は2ランク上昇したが、10・20歳代、70歳代の順位は1ランク下降した。  
平均スコア(総合0.762)では、50歳代(0.985)が最も高く、以下、60歳代(0.842)、40歳代(0.802)、30歳代(0.714)、70歳以上(0.641)、10・20歳代(0.519)の順になっている。前年度の平均スコアとの比較では、30歳代、40歳代、50歳代、及び60歳代で前年度を上回った。
- ◇ 総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は、前年度は10・20歳代、60歳代及び

70歳以上の各年齢層で2位、40歳代、50歳代で3位、30歳代で5位であったが、今年度は70歳以上の年齢層で1位、60歳代で2位、40歳代で3位、10・20歳代及び30歳代で5位となった。平均スコア（総合0.522）では、70歳以上（0.643）が最も高く、60歳代（0.557）、50歳代（0.510）、40歳代（0.453）、10・20歳代（0.346）、30歳代（0.286）の順で続いた。50歳代以上の各年齢層で0.500水準を上回った。

- ◇ 総合3位の「子育て支援の推進」は、前年度は30歳代の1位を筆頭に、40歳代、50歳代で2位、70歳以上で3位、10・20歳代、60歳代で5位であった。今年度は10・20歳代で1位、30歳代、40歳代及び50歳代で2位、60歳代で5位、70歳以上で6位となり、子育てに多忙と考えられる30歳代、40歳代で相対的に高い評価を得た。平均スコア（総合0.490）では、40歳代（0.703）を筆頭に、10・20歳代、30歳代（0.580）、50歳代（0.541）、60歳代（0.423）、70歳以上（0.351）の順で続いた。10・20歳代、30歳代、40歳代及び50歳代の各年齢層で0.500水準を上回り、ここでも子育てに多忙と考えられる30歳代、40歳代を中心に評価が高い傾向がみられた。
- ◇ 総合4位の「医療・衛生管理体制の充実」は、30歳代、50歳代、60歳代及び70歳以上で3位、40歳代で5位、10・20歳代で6位となり、全ての年齢層で6位以内にランクインした。
- ◇ 総合5位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は、10・20歳代の3位を筆頭に、30歳代、40歳代及び60歳代で4位、50歳代、70歳以上で5位となり、全ての年齢層で6位以内にランクインした。
- ◇ 総合6位の「健康づくりの推進」は、70歳以上で4位、30歳代、50歳代及び60歳代で6位、40歳代で7位、10・20歳代で8位となり、年齢の高い世代で相対的に高い評価を得た。
- ◇ 総合7位の「市役所の窓口サービスの向上」は、60歳代及び70歳以上の7位を筆頭に、40歳代で11位、50歳代で12位となった。
- ◇ このほかに、年齢が高い世代の評価が高かったものとしては、総合9位の「高齢社会対策の推進」は70歳以上（8位）が最も高く、30歳代（9位）が次いで高い順位であった。総合10位の「大気・騒音・水質などの環境保全」は50歳代（7位）が最も高く、60歳代（8位）も次いで高い順位であった。一方、若い世代の評価が高かったものとしては、総合13位の「観光・コンベンション（大規模な会議など）の振興」は10・20歳代（4位）の評価が最も高かった。

### ③ 居住年数別

ここでは、標本数が少ない2年未満（5サンプル）、3年未満（2サンプル）を除いた居住年数別でみることにする。

- ◇ 総合1位の「防犯・暴力追放運動の推進」を、市民の居住年数別にみると、前年度は、2年未満、20年未満、30年未満及び30年以上の居住年数層で1位であった。今年度は、5年未満、20年未満、30年未満及び30年以上の居住年数層で1位、10年未満で2位、1年未満で3位と、全ての居住年数層で3位以内にランクインした。平均スコア（総合0.762）をみると、20年未満（0.844）が最も高く、以下、30年以上（0.777）、5年未満（0.773）、30年未満（0.750）、10年未満（0.561）と続いた。これらの居住年数層で、0.500を上回った。
- ◇ 総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は、前年度は、1年未満、30年以上で

2位、20年未満、30年未満で3位であった。今年度は、30年以上で2位、20年未満で3位、5年未満及び30年未満で5位、10年未満で11位と、1年未満及び10年未満を除く全ての居住年数層で8位以内にランクインした。平均スコア（総合0.522）をみると、30年以上（0.603）が最も高く、20年未満（0.467）、5年未満（0.409）、30年未満（0.375）、10年未満（0.140）と続いた。

- ◇ 総合3位の「子育て支援の推進」は、10年未満で1位、1年未満、20年未満で2位、30年以上で3位、5年未満、30年未満で4位と、全ての居住年数層で5位以内にランクインした。平均スコア（総合0.490）をみると、10年未満（0.596）が最も高く、1年未満（0.563）、20年未満（0.519）の順で続き、これらの居住年数層で0.500水準を上回った。
- ◇ 総合4位の「医療・衛生管理体制の充実」は、1年未満で1位、30年未満で2位、5年未満、10年未満で3位、20年未満、30年以上で4位と、全ての居住年数層で4位以内にランクインし、居住年数を問わず高い評価を得ている。
- ◇ 総合5位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は、5年未満で2位、30年未満で3位、1年未満で4位、10年未満、20年未満及び30年以上で5位と、全ての居住年数層で5位以内にランクインした。
- ◇ 総合6位の「健康づくりの推進」は、10年未満で4位、30年未満、30年以上で6位、5年未満、20年未満で8位となり、居住年数の長い市民ほど高い評価となった。

#### ④ 職業別

ここでは、標本数が少ない農・林・漁業（4サンプル）を除いた職業別でみることにする。

- ◇ 総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、主婦・主夫（パートなど）及び主婦・主夫（専業）で2位となったが、それら以外の全ての職業層で1位となった。平均スコア（総合0.762）は公務員・教員（1.147）が最も高く、次いで自由業（1.083）、自営業（1.042）、会社員（0.968）と続いた。全職業において0.500水準を上回った。
- ◇ 総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は、主婦・主夫（専業）で1位、自営業、公務員・教員及び無職で2位、主婦・主夫（パートなど）、その他で4位、会社員で5位、自由業で10位、学生で12位と、自由業、学生を除く全ての職業層で5位以内にランクインした。平均スコア（総合0.522）は、主婦・主夫（専業）（0.689）が最も高く、次いで公務員・教員（0.676）、自営業（0.606）となった。一方、最も低い評価だったのは学生（0.188）で、次いで自由業（0.250）、会社員（0.316）と続き、この3つの職業層では0.400水準を下回った。
- ◇ 総合3位の「子育て支援の推進」は、主婦・主夫（パートなど）が1位で最も順位が高く、会社員、その他で2位、公務員・教員、主婦・主夫（専業）で3位、自営業で5位、無職で6位、自由業で7位と学生を除く全ての職業層で7位以内にランクインした。平均スコア（総合0.490）は、主婦・主夫（パートなど）（0.692）が最も高く、公務員・教員（0.647）、その他（0.519）、会社員（0.511）の順となり、これら5つの職業層で0.500水準以上となった。
- ◇ 総合4位の「医療・衛生管理体制の充実」は、自営業、会社員、主婦・主夫（パートなど）、無職及びその他で3位、自由業、学生で4位、公務員・教員で5位、主婦・主夫（専業）で6位と、全ての職業層で6位以内にランクインした。

- ◇ 総合5位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は、自由業、学生が3位で最も順位が高く、会社員、主婦・主夫（専業）で4位、主婦・主夫（パートなど）、無職で5位、その他で6位、公務員・教員で7位、自営業で8位となった。
- ◇ なお、総合6位の「健康づくりの推進」は、自営業、無職が4位で最も評価が高かった。また、総合7位の「市役所の窓口サービスの向上」は、無職が7位で最も評価が高く、総合8位の「都市景観の整備」は、学生が5位で最も高い評価であった。総合9位の「高齢社会対策の推進」は、自営業、主婦・主夫（専業）で7位となり、総合10位の「大気・騒音・水質などの環境保全」は、公務員・教員で6位となり、これらの層で最も高い評価であった。

(表1-3) 属性別にみた市政評価ベスト12 【1/2】

市政評価

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行っている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。												
		よくなっている												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	
全体口	1,201	暴力追放	ごみ処理	子育て	医療衛生	公園整備	健康推進	市役所	都市景観	高齢社会	環境保全	生活道路	学校教育	
性別	男性口	1.201	暴力追放	医療衛生	子育て	公園整備	健康推進	環境保全	市役所	都市景観	高齢社会	環境振興	生活道路	
	女性口	465	1.067	0.499	0.495	0.366	0.333	0.239	0.202	0.194	0.176	0.148	0.148	0.142
	無回答口	728	0.571	0.571	0.534	0.475	0.468	0.371	0.209	0.198	0.187	0.180	0.159	0.137
		8	0.100	0.625	0.625	0.375	0.375	0.375	0.250	0.250	0.125	0.125		
年齢別	10・20歳代	81	0.580	0.519	0.469	0.370	0.346	0.321	0.247	0.222	0.210	0.198	0.198	0.173
	30歳代口	112	0.714	0.580	0.420	0.321	0.286	0.205	0.196	0.188	0.179	0.179	0.170	0.170
	40歳代口	192	0.802	0.703	0.453	0.427	0.365	0.250	0.224	0.177	0.172	0.167	0.161	0.156
	50歳代口	196	0.985	0.541	0.531	0.510	0.393	0.219	0.219	0.204	0.189	0.179	0.168	0.148
	60歳代口	253	0.842	0.557	0.549	0.435	0.423	0.332	0.257	0.162	0.146	0.123	0.123	0.119
	70歳以上口	359	0.643	0.641	0.535	0.474	0.426	0.351	0.290	0.259	0.170	0.142	0.142	0.142
	無回答口	8	1.000	0.625	0.625	0.375	0.375	0.375	0.250	0.125	0.125			
	居住年数別	1年未満口	16	0.688	0.563	0.563	0.563	0.438	0.375	0.188	0.188	0.188	0.188	0.125
2年未満口		5	1.000	0.600	0.600	0.400	0.400	0.200	0.200	0.200				
3年未満口		2	2.500	2.000	1.000	0.500								
5年未満口		44	0.773	0.500	0.477	0.432	0.409	0.364	0.205	0.205	0.205	0.159	0.159	0.159
10年未満口		57	0.596	0.561	0.526	0.404	0.263	0.228	0.175	0.175	0.158	0.140	0.140	0.123
20年未満口		135	0.844	0.519	0.467	0.430	0.378	0.252	0.200	0.193	0.178	0.156	0.148	0.141
30年未満口		160	0.750	0.494	0.456	0.450	0.375	0.319	0.256	0.250	0.188	0.175	0.150	0.144
30年以上口		775	0.777	0.603	0.486	0.485	0.415	0.350	0.252	0.183	0.165	0.164	0.157	0.142
無回答口		7	1.143	0.714	0.714	0.429	0.429	0.429	0.286	0.143	0.143	0.143		

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

(表1-3) 属性別にみた市政評価ベスト12 【2/2】

市政評価		(数値は平均スコア)											
区分	回答者数	北九州市が行っている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。											
		よくなっている											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位
全体口	1,201	暴力追放 0.762	ごみ処理 0.522	子育て 0.490	医療衛生 0.481	公園整備 0.413	健康推進 0.321	都市役所 0.201	都市景観 0.182	高齢社会 0.179	環境保全 0.162	生活道路 0.152	学校教育 0.149
職業別													
自営業口	71	暴力追放 1.042	ごみ処理 0.606	医療衛生 0.535	健康推進 0.310	子育て 0.282	都市景観 0.254	高齢社会 0.197	公園整備 0.197	都市役所 0.197	スポーツ 0.155	交通物流 0.155	環境保全 0.141
自由業口	12	暴力追放 1.083	観光振興 0.750	公園整備 0.667	医療衛生 0.500	健康推進 0.500	生涯学習 0.417	子育て 0.250	学術振興 0.250	交通物流 0.250	ごみ処理 0.250	防災体制 0.167	障害者 0.167
会社員口	313	暴力追放 0.968	子育て 0.511	医療衛生 0.431	公園整備 0.422	ごみ処理 0.316	都市景観 0.243	観光振興 0.227	環境保全 0.208	道路網 0.176	市役所 0.173	健康推進 0.157	スポーツ 0.150
公務員・教員口	34	暴力追放 1.147	ごみ処理 0.676	子育て 0.647	観光振興 0.382	医療衛生 0.353	環境保全 0.353	公園整備 0.294	都市景観 0.235	高齢社会 0.206	交通物流 0.176	ごみ処理 0.176	道路網 0.147
農・林・漁業口	4	暴力追放 1.000	ごみ処理 0.750	医療衛生 0.750	市役所 0.750	暴力追放 0.500	防災体制 0.500	消費者 0.500	健康推進 0.500	温暖化 0.500	観光振興 0.250		
主婦・主夫(パートなど)	201	子育て 0.692	暴力追放 0.642	医療衛生 0.483	ごみ処理 0.478	公園整備 0.453	健康推進 0.274	学校教育 0.169	都市役所 0.159	公園景観 0.144	都市生活 0.144	高齢社会 0.139	学術振興 0.129
主婦・主夫(専業)	222	ごみ処理 0.689	暴力追放 0.505	子育て 0.500	公園整備 0.482	健康推進 0.468	医療衛生 0.446	高齢社会 0.248	都市役所 0.239	公園景観 0.185	都市生活 0.185	道路網 0.180	環境保全 0.131
学生口	16	暴力追放 0.688	学校教育 0.625	公園整備 0.625	医療衛生 0.563	都市景観 0.313	観光振興 0.313	道路網 0.313	環境保全 0.250	スポーツ 0.188	健康推進 0.188	芸術文化 0.188	ごみ処理 0.188
無職口	264	暴力追放 0.689	ごみ処理 0.644	医療衛生 0.576	健康推進 0.432	公園整備 0.394	子育て 0.379	都市役所 0.258	公園景観 0.220	高齢社会 0.152	生活道路 0.148	学校教育 0.148	環境保全 0.140
その他口	54	暴力追放 0.870	子育て 0.519	医療衛生 0.500	ごみ処理 0.463	健康推進 0.426	公園整備 0.370	都市役所 0.296	公園景観 0.259	環境保全 0.241	都市生活 0.185	観光振興 0.167	道路網 0.167
無回答口	10	ごみ処理 0.800	生涯学習 0.500	高齢社会 0.500	健康推進 0.500	子育て 0.300	暴力追放 0.300	道路網 0.300	国際交流 0.200	都市景観 0.100	産業振興 0.100	温暖化 0.100	自然保護 0.100

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

#### (4) 地区別にみた特徴 (表1-4参照)

##### ① 行政区別にみた特徴

◇ 総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」を行政区別にみると、全ての区で1位となっており、最も高く評価されている。

平均スコア(総合0.762)では、小倉北区(0.976)が最も高く、次いで小倉南区(0.860)、八幡東区(0.773)、若松区(0.696)、八幡西区(0.664)、戸畑区(0.650)、門司区(0.611)と全ての区で0.600水準を上回った。

◇ 総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は、若松区、八幡東区、八幡西区で2位、門司区、戸畑区で3位、小倉北区で4位、小倉南区で5位となった。いずれの区でも比較的高く評価されており、市民全般に安定的に評価されているという側面が確認された。

平均スコア(総合0.522)では、八幡東区(0.761)が最も高く、次いで若松区(0.583)、八幡西区(0.573)と続いた。一方、最も低かったのは小倉南区(0.407)で、次いで門司区(0.460)、戸畑区(0.475)、小倉北区(0.493)と続き、この4区で0.500水準を下回った。

◇ 総合3位の「子育て支援の推進」は、門司区で2位、小倉北区、小倉南区、八幡東区

で3位、八幡西区、戸畑区で4位、若松区で5位と、いずれの区でも高評価を得ている。

平均スコア（総合0.490）では、門司区（0.595）が最も高く、次いで八幡東区（0.580）と続いた。一方、最も評価が低かったのは若松区（0.409）であった。

◇ 次に、区別の評価の様子をみていく。

まず門司区の上位5項目は、総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が1位で、総合3位の「子育て支援の推進」が2位で、総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は3位で、総合4位の「医療・衛生管理体制の充実」は4位で、総合6位の「健康づくりの推進」が5位であった。

◇ 小倉北区の上位5項目は、総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が1位で、総合5位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」が2位で、総合3位の「子育て支援の推進」は3位で、総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は4位で、総合4位の「医療・衛生管理体制の充実」が5位であった。

◇ 小倉南区の上位5項目は、総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が1位で、総合4位の「医療・衛生管理体制の充実」が2位で、総合3位の「子育て支援の推進」は3位で、総合5位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」が4位で、総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は5位であった。

◇ 若松区の上位5項目は、総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が1位で、総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は2位で、総合4位の「医療・衛生管理体制の充実」が3位で、総合6位の「健康づくりの推進」は4位で、総合3位の「子育て支援の推進」が5位であった。

◇ 八幡東区の上位5項目は、総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が1位で、総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は2位で、総合3位の「子育て支援の推進」が3位で、総合4位の「医療・衛生管理体制の充実」は4位で、総合6位の「健康づくりの推進」は5位であった。

◇ 八幡西区の上位5項目は、総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が1位で、総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は2位で、総合4位の「医療・衛生管理体制の充実」が3位で、総合3位の「子育て支援の推進」が4位で、総合5位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」が5位であった。

◇ 最後に戸畑区の上位5項目は、総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が1位で、総合5位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」が2位で、総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は3位で、総合3位の「子育て支援の推進」は4位で、総合10位の「大気・騒音・水質などの環境保全」が5位であった。

## ② 18地区別にみた特徴

ここでは、7つの行政区を18地区に細分化して調査結果を概観したい。

◇ 総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」を18地区別にみると、前年度は門司（東部）地区で7位となり、それ以外の17地区全てで5位以内だった。今年度は門司（大里）地区では2位で、門司（東部）地区では3位で、若松地区、八幡東（西部）地区では4位であった。それ以外の14地区全てで1位となった。この事業に対する市民の評価は総じて高いといえる。

平均スコア（総合0.762）は、前年度（総合0.667）より上回った。今年度は徳力地区（1.083）が最も高く、次いで小倉（西部）地区（1.016）、城野地区（0.964）と続いた。

一方、最も低かったのは若松地区(0.482)で、次いで門司(東部)地区の(0.538)、八幡東(西部)地区(0.541)、門司(大里)地区(0.571)と続き、それ以外の14地区で0.600水準を上回った。

- ◇ 総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」をみると、前年度は門司(東部)地区、香月地区で6位となり、それ以外の16地区全てで5位以内だった。今年度は、小倉(西部)地区、城野地区及び徳力地区では、5位で、小倉地区、黒崎地区では6位となった。平均スコア(総合0.522)は、前年度(総合0.504)より上回った。今年度は八幡東(西部)地区(0.919)が最も高く、次いで香月地区(0.719)、若松地区(0.679)、八幡東(東部)地区(0.647)、上津役地区(0.625)、折尾地区(0.623)、小倉(東部)地区(0.616)と続き、これら7地区で0.600水準を上回った。一方、最も低かったのは徳力地区(0.319)で、徳力地区を含む5地区で0.400水準を下回った。
- ◇ 総合3位の「子育て支援の推進」は、二島地区で6位、門司港地区で10位となった。それ以外の16地区で5位以内となった。平均スコア(総合0.490)は、前年度(総合0.494)より下回った。門司(東部)地区(0.846)が最も高く、香月地区(0.719)と続き、これら2地区で0.700水準を上回った。一方、最も低かったのは門司港地区(0.200)で、この地区のみ0.200水準を下回った。
- ◇ 総合4位の「医療・衛生管理体制の充実」は、戸畑地区で6位、城野地区で7位、門司(東部)地区で12位となった。それ以外の16地区で5位以内となった。平均スコア(総合0.481)は、曾根地区(0.664)が最も高く、黒崎地区(0.626)と続き、これらの地区は0.600水準を上回った。一方、最も低かった門司(東部)地区(0.115)は0.200水準を下回った。
- ◇ 総合5位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は、若松地区、八幡東(西部)地区で7位、香月地区で13位となっており、これらの地区を除く15地区で6位以内となった。平均スコア(総合0.413)は、小倉地区(0.809)が最も高く、0.800水準を上回った。その他の地区の評価は0.300~0.500が多く、小倉地区が群を抜いて高評価であることが読み取れる。一方、最も低かったのは八幡東(西部)地区(0.216)、門司港地区(0.267)、門司(東部)地区(0.269)、若松地区(0.286)、折尾地区(0.292)で、0.300水準を下回った。
- ◇ 総合6位の「健康づくりの推進」は、門司港地区、若松地区で2位、4位が1地区、5位が5地区、6位が3地区、7位が1地区、8位が1地区、9位が1地区、10位が2地区と続き、これら16地区でベスト10入りした。なお、門司(東部)地区、城野地区では、ベスト10圏外であった。平均スコア(総合0.321)は、門司港地区(0.567)、若松地区(0.518)で、0.500水準を上回った。一方、最も低かったのは門司(東部)地区(0.038)だった。
- ◇ 総合7位の「市役所の窓口サービスの向上」は、12地区でベスト10入りした。平均スコア(総合0.201)は、城野地区(0.291)が最も高かった。最も低いのは門司港地区他5地区となっている。
- ◇ 総合8位の「都市景観の整備」は、10地区でベスト10入りした。総合9位の「高齢社会対策の推進」は、9地区でベスト10入りし、総合10位の「大気・騒音・水質などの環境保全」は、9地区でベスト10入りしている。

(表1-4) 地区別にみた市政評価ベスト12 【1/2】

市政評価

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行っている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。											
		よくなっている											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位
全体口	1,201	暴力追放	ごみ処理	子育て	医療衛生	公園整備	健康推進	都市役所	都市景観	高齢社会	環境保全	生活道路	学校教育
地区別	門司区口	126	暴力追放	子育て	ごみ処理	医療衛生	健康推進	公園整備	高齢社会	都市景観	市役所	生活道路	観光振興
	小倉北区口	207	暴力追放	公園整備	子育て	ごみ処理	医療衛生	都市景観	健康推進	高齢社会	市役所	環境保全	観光振興
	小倉南区口	243	暴力追放	医療衛生	子育て	公園整備	ごみ処理	健康推進	市役所	高齢社会	学校教育	環境保全	都市景観
	若松区口	115	暴力追放	ごみ処理	医療衛生	健康推進	子育て	公園整備	市役所	高齢社会	生活道路	環境保全	都市景観
	八幡東区口	88	暴力追放	ごみ処理	子育て	医療衛生	健康推進	公園整備	都市景観	高齢社会	市役所	市街地	環境保全
	八幡西区口	342	暴力追放	ごみ処理	医療衛生	子育て	公園整備	健康推進	市役所	生活道路	学校教育	学術振興	都市景観
	戸畑区口	80	暴力追放	公園整備	ごみ処理	子育て	環境保全	医療衛生	都市景観	高齢社会	健康推進	生活道路	スポーツ
	門司区計	126	暴力追放	子育て	ごみ処理	医療衛生	健康推進	公園整備	高齢社会	都市景観	市役所	生活道路	観光振興
門司区	門司港口	30	暴力追放	健康推進	医療衛生	ごみ処理	都市景観	公園整備	環境保全	防災体制	観光振興	子育て	生活道路
	門司(大里)口	70	子育て	暴力追放	医療衛生	ごみ処理	健康推進	公園整備	高齢社会	市役所	生活道路	住宅対策	観光振興
	門司(東部)口	26	子育て	ごみ処理	暴力追放	芸術文化	高齢社会	公園整備	交通物流	学校教育	防災体制	都市景観	学術振興
	門司区計	126	暴力追放	子育て	ごみ処理	医療衛生	健康推進	公園整備	高齢社会	都市景観	市役所	生活道路	観光振興
	小倉北区計	207	暴力追放	公園整備	子育て	医療衛生	健康推進	公園整備	高齢社会	都市景観	市役所	生活道路	観光振興
小倉南区	小倉口	47	暴力追放	公園整備	子育て	医療衛生	都市景観	ごみ処理	高齢社会	観光振興	学術振興	健康推進	スポーツ
	小倉(東部)口	99	暴力追放	ごみ処理	子育て	公園整備	医療衛生	健康推進	市役所	生活道路	環境保全	高齢社会	学校教育
	小倉(西部)口	61	暴力追放	医療衛生	公園整備	子育て	ごみ処理	都市景観	健康推進	芸術文化	環境保全	市街地	温暖化
	小倉北区計口	207	暴力追放	公園整備	子育て	医療衛生	健康推進	公園整備	高齢社会	都市景観	市役所	生活道路	観光振興
小倉南区	城野口	55	暴力追放	子育て	公園整備	学校教育	ごみ処理	市役所	医療衛生	都市景観	生涯学習	環境保全	高齢社会
	曾根口	116	暴力追放	医療衛生	ごみ処理	子育て	公園整備	健康推進	市役所	高齢社会	環境保全	学校教育	芸術文化
	徳力口	72	暴力追放	医療衛生	公園整備	子育て	ごみ処理	健康推進	道路網	都市景観	環境保全	市役所	防災体制
	小倉南区計口	243	暴力追放	医療衛生	子育て	公園整備	ごみ処理	健康推進	市役所	高齢社会	学校教育	環境保全	都市景観

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

(表1-4) 地区別にみた市政評価ベスト12 【2/2】

市政評価

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行っている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。											
		よくなっている											
		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位
全体口	1,201	暴力追放 0.762	ごみ処理 0.522	子育て 0.490	医療衛生 0.481	公園整備 0.413	健康推進 0.321	市役所 0.201	都市景観 0.182	高齢社会 0.179	環境保全 0.162	生活道路 0.152	学校教育 0.149
若松区	若松口	ごみ処理 0.679	健康推進 0.518	子育て 0.500	暴力追放 0.482	医療衛生 0.357	高齢社会 0.304	公園整備 0.286	市役所 0.250	地域 0.214	スポーツ 0.179	都市景観 0.143	生活道路 0.143
	二島口	暴力追放 0.898	医療衛生 0.559	ごみ処理 0.492	公園整備 0.407	健康推進 0.373	子育て 0.322	生活道路 0.186	市役所 0.186	道網 0.186	環境保全 0.153	生涯学習 0.136	障害者 0.136
	若松区計口	暴力追放 0.696	ごみ処理 0.583	医療衛生 0.461	健康推進 0.443	子育て 0.409	公園整備 0.348	市役所 0.217	都市景観 0.209	高齢社会 0.165	生活道路 0.148	環境保全 0.139	都市スポーツ 0.130
八幡東区	八幡東(東部)口	暴力追放 0.941	ごみ処理 0.647	子育て 0.608	医療衛生 0.412	健康推進 0.373	公園整備 0.333	市街地 0.294	都市景観 0.275	市役所 0.275	高齢社会 0.235	環境保全 0.157	生涯学習 0.118
	八幡東(西部)口	ごみ処理 0.919	医療衛生 0.568	子育て 0.541	暴力追放 0.541	学校教育 0.351	学校暖化 0.297	公園整備 0.216	道網 0.216	環境保全 0.216	健康推進 0.162	学術振興 0.135	高齢社会 0.135
	八幡東区計口	暴力追放 0.773	ごみ処理 0.761	子育て 0.580	医療衛生 0.477	健康推進 0.284	公園整備 0.284	都市景観 0.216	市役所 0.193	高齢社会 0.193	市街地 0.193	環境保全 0.182	生涯学習 0.159
八幡西区	黒崎口	暴力追放 0.703	医療衛生 0.626	公園整備 0.538	子育て 0.451	健康推進 0.374	ごみ処理 0.374	市役所 0.198	生活道路 0.154	芸術文化 0.154	学校教育 0.143	生涯学習 0.110	学術振興 0.099
	折尾口	暴力追放 0.623	ごみ処理 0.623	医療衛生 0.519	健康推進 0.443	子育て 0.415	公園整備 0.292	生活道路 0.274	学術振興 0.255	市役所 0.217	都市景観 0.208	学校教育 0.198	観光振興 0.170
	上津役口	暴力追放 0.625	ごみ処理 0.625	公園整備 0.534	子育て 0.443	医療衛生 0.443	学校教育 0.284	生活道路 0.250	健康推進 0.216	高齢社会 0.193	市役所 0.182	防災体制 0.170	市街地 0.159
	香月口	暴力追放 0.737	子育て 0.719	ごみ処理 0.719	医療衛生 0.579	健康推進 0.474	市役所 0.281	交通物流 0.228	学術振興 0.158	都市景観 0.158	観光振興 0.140	環境保全 0.140	高齢社会 0.105
	八幡西区計口	暴力追放 0.664	ごみ処理 0.573	医療衛生 0.538	子育て 0.482	公園整備 0.386	健康推進 0.371	市役所 0.213	生活道路 0.202	学校教育 0.175	学術振興 0.164	都市景観 0.137	観光振興 0.137
戸畑区	戸畑口	暴力追放 0.650	公園整備 0.588	ごみ処理 0.475	子育て 0.425	環境保全 0.363	医療衛生 0.300	都市景観 0.238	高齢社会 0.213	健康推進 0.213	生活道路 0.213	スポーツ 0.200	市役所 0.188
	戸畑区計口	暴力追放 0.650	公園整備 0.588	ごみ処理 0.475	子育て 0.425	環境保全 0.363	医療衛生 0.300	都市景観 0.238	高齢社会 0.213	健康推進 0.213	生活道路 0.213	スポーツ 0.200	市役所 0.188

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

## 2 行政施策への要望

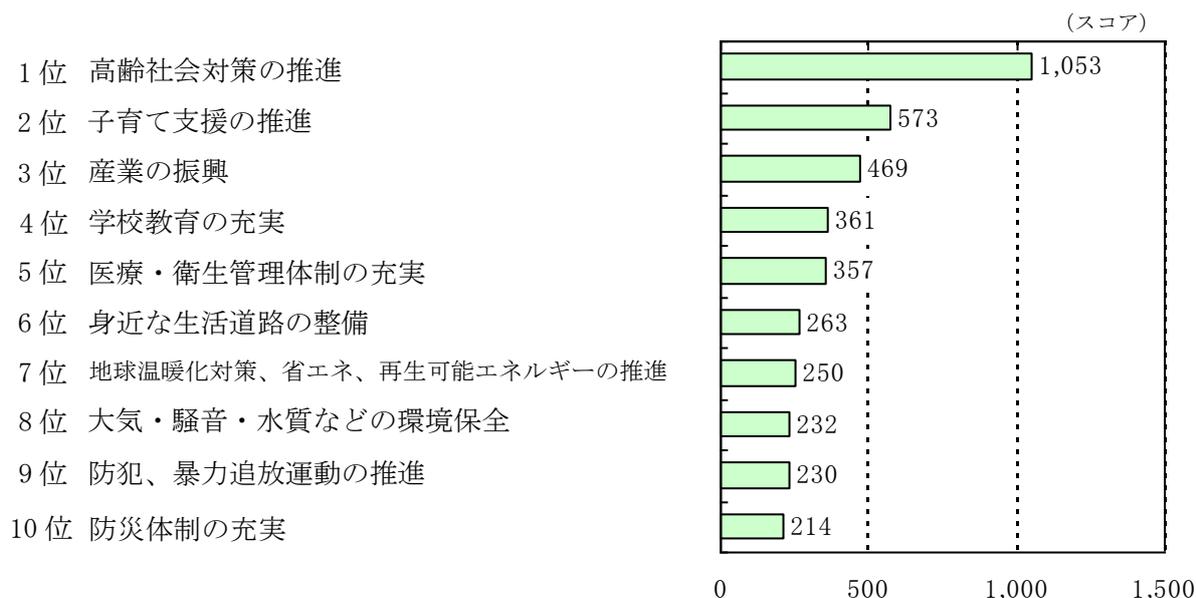
現在、北九州市が行っている施策や事業 34 項目のなかから、「今後、もっと力を入れてほしい」ものを 1 位から 3 位まで回答を求めた。その結果を上位順に示したものが（表 2-1）、上位 10 項目を棒グラフで表したものが（図 2-1）である。

（表 2-1） 「今後、もっと力を入れてほしい」もの

順位	調査項目	スコア (得点数)
1	高齢社会対策の推進	1,053
2	子育て支援の推進	573
3	産業の振興（企業の誘致・成長支援、雇用の促進など）	469
4	学校教育の充実	361
5	医療・衛生管理体制の充実（救急医療、感染症対策など）	357
6	身近な生活道路の整備	263
7	地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進	250
8	大気・騒音・水質などの環境保全	232
9	防犯、暴力追放運動の推進	230
10	防災体制の充実	214
11	駐車対策	203
12	道路・交通ネットワークの整備	197
13	青少年の健全育成の推進	183
14	健康づくりの推進（検診、予防、食育など）	182
15	障害者施策の推進	179
15	市街地の整備・再開発	179
17	公園の整備など、緑のまちづくりの推進	164
18	ごみの適正処理とリサイクル	153
19	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	144
20	市役所の窓口サービスの向上	137
21	住宅供給の促進・快適な住環境の整備	126
22	芸術・文化活動の振興	115
23	生涯学習の推進	97
24	交通・物流（空港、港湾など）機能の強化	96
25	自然環境の保全と自然とのふれあいの推進	93
26	アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり	87
27	地域コミュニティづくりの支援	85
28	都市景観の整備（まち並みづくりと歴史的建造物の活用など）	82
29	スポーツの振興	74
30	消費者被害防止対策	72
31	観光・コンベンション（大規模な会議など）の振興	68
32	人権の尊重と男女共同参画（あらゆる分野への女性の参画）の推進	60
33	学術の振興（学術研究都市の推進、市立大学の充実など）	45
34	ボランティア・NPO活動の支援	34

注) スコアは、1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点を合計したものの

(図 2-1) 市政要望トップ 10



### (1) 調査結果の概要

結果をみると、「今後、もっと力を入れてほしい」とする行政への要望は、1位に「高齢社会対策の推進」（スコア 1,053）が入った。この項目は、平成 23 年度まで 17 年連続 1 位であった。平成 24 年度は 2 位となったが平成 25 年度は再度 1 位となり、今年度で 7 年連続 1 位となった。

2 位には、「子育て支援の推進」（スコア 573）が入った。この項目は、平成 19 年度以降連続で 4 位または 5 位にランクインしており、以前から市民の要望が強かった。平成 25 年度から 2 年連続で 3 位に入り、平成 27 年度は順位が 1 つ上がり 2 位となって、今年度で 5 年連続 2 位となっており、近年は市民の要望が更に強まっていることがうかがえる。

3 位の「産業の振興」（スコア 469）は、平成 20 年度から連続して 5 位以内に入っている。平成 28 年度は 5 位、平成 29 年度は 4 位、前年度は 3 位、今年度は 3 位と、年度により順位に変動はあるものの、5 位以内に連続でランクインしている。

4 位の「学校教育の充実」（スコア 361）は、9 年連続 6 位であったが、今年は 2 つ上がり 4 位となった。

5 位の「医療・衛生管理体制の充実」（スコア 357）は、平成 13 年度から連続して 5 位以内に入っている。（平成 22 年度の調査項目の改訂以前は「保健・医療の充実」としてランクイン）平成 28 年度は 4 位、平成 29 年度は 3 位、前年度は 3 位、今年度は 5 位と、年度により順位に変動はあるものの、5 位以内に連続でランクインしている。

6 位の「身近な生活道路の整備」（スコア 263）は、平成 27 年度は 10 位であったが、平成 28 年度は 9 位、平成 29 年度と前年度は 7 位、今年度は 6 位と順位が上がり、市民の要望が強まっていることがうかがえる。

7 位の「地球温暖化対策」（スコア 250）は、平成 28 年度 16 位、平成 29 年度 15 位とランク外が続いていたが、前年度は順位が 5 つ上がり 10 位となった。今年度は更に順位が 3 つ上がり 7 位となった。

8 位の「大気・騒音・水質などの環境保全」は、昨年度までランクから外れていた。

9 位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、平成 24 年度は 1 位、平成 25 年度及び平成 26 年度は 2 位であった。平成 27 年度は 4 位、平成 28 年度は 3 位、平成 29 年度は順位が 2 つ

下がって5位となり、前年度も2年連続で5位と、前年度までは順位に変動はあるものの、5位以内に連続でランクインしていた。しかし今年度は大きく順位を下げ、9位となった。

10位の「防災体制の充実」は、平成28年度17位、平成29年度11位とランク外が続いていたが、前年度は順位が3つ上がり8位となり、今年度は順位を2つ下げ10位となった。

以上、今年度は、これら10項目により市政要望のトップ10が形成されている。

## (2) 市政要望の推移

ここでは、主に上位 10 位までの市政要望の経年変化の様子をみる。また順位の指標とは別に、項目ごとの評価の水準（高低）を比較可能にするため、総合得点を回答者数で割った平均スコアも分析に加えた。以下、過去 3 年間を中心に変化をみると次のような特徴を指摘できる。（表 2-2）参照

- ◇ 市政要望 1 位の「高齢社会対策の推進」は、平成 23 年度まで 17 年間連続 1 位に登場し、平成 24 年度は 2 位に後退したが、平成 25 年度以降は 7 年連続 1 位と、市民の根強い関心の高さと期待感の大きさをうかがわせる結果となった。平均スコアは、平成 29 年度は 0.838、前年度は 0.784 と下降したが、今年度は 0.877 と上昇した。
- ◇ 2 位となった「子育て支援の推進」は、平成 17 年度の 2 位をピークに、平成 22 年度及び平成 23 年度は 5 位まで要望順位が下がったが、平成 24 年度は 4 位、平成 25 年度及び平成 26 年度は 3 位、平成 27 年度は 2 位と順位が上がり、今年度で 5 年連続 2 位となるなど、経年的に市民からの要望が高まっている。平均スコアは、平成 29 年度は 0.511、前年度は 0.493 と下降し、今年度は 0.477 と下降傾向が続いた。
- ◇ 3 位の「産業の振興」は、平成 21 年度から 27 年度までは 3 位または 4 位にランクインが続いていた。平成 28 年度は 2 つ順位が下がり 5 位となったが、平成 29 年度は 4 位、前年度は 3 位となり、今年度も連続 3 位となった。平均スコアは平成 29 年度が 0.346、前年度は 0.304 と下降したが、今年度は 0.391 と上昇に転じた。
- ◇ 4 位の「学校教育の充実」は、平成 18 年度の 4 位から徐々にランクが下がり、平成 21 年度は 7 位にまで要望順位が下がった。平成 22 年度以降は 9 年連続で 6 位となっており、今年度は順位を一つ上げ 4 位となった。平均スコアは、平成 28 年度が 0.315、平成 29 年度は 0.278 と下降したが、前年度は 0.299 と上昇に転じ、今年度は 0.301 と上昇傾向が続いた。
- ◇ 5 位の「医療・衛生管理体制の充実」は、平成 24 年度から 27 年度まで 4 年連続して 5 位が続いていたが平成 28 年度から 4 位、平成 29 年度は 3 位と順位が上がり、前年度は 2 年連続 3 位と上げていた。しかし、今年度では順位が 2 つ下がり 5 位となった。平均スコアは、平成 29 年度 0.353、前年度 0.304 と下降し、今年度 0.297 と下降傾向が続いた。
- ◇ 6 位の「身近な生活道路の整備」は、平成 23 年度に 9 位とトップ 10 内にランクインし、平成 24 年度及び平成 25 年度はトップ 10 圏外となったが、平成 26 年度及び平成 27 年度は再度 10 位にランクインした。平成 28 年度は順位が 1 つ上がって 9 位、平成 29 年度は更に順位が 2 つ上がって 7 位となり、前年度も 2 年連続 7 位だった。今年度は更に順位が 1 つ上がり 6 位となった。平均スコアは、平成 29 年度 0.216、前年度 0.220 と上昇したが、今年度 0.219 とわずかに下降した。
- ◇ 7 位には「地球温暖化対策」が入った。平成 28 年度 16 位、平成 29 年度は順位が 1 つ上がって 15 位であったが、前年度は順位が 5 つ上がって 10 位となり、今年度は更に順位が 3 つ上がって 7 位となった。平均スコアは、平成 29 年度 0.135、前年度 0.174、今年度 0.208 と順位とともに上昇が続いている。
- ◇ 8 位には「大気・騒音・水質などの環境保全」が入った。平均スコアは、平成 29 年度 0.116、前年度 0.121、今年度 0.193 と上昇が続いている。
- ◇ 9 位となった「防犯、暴力追放運動の推進」は、平成 15 年度及び平成 16 年度の 2 位

をピークに、平成 21 年度までは 3 位から 5 位を推移していた。その後、平成 22 年度 4 位、平成 23 年度 2 位、平成 24 年度 1 位と順位が上がり、平成 25 年度及び平成 26 年度は 2 位と要望順位が高まっていた。それ以降、平成 27 年度は 4 位まで要望順位が下がり、平成 28 年度は 3 位、平成 29 年度、前年度では 2 年連続 5 位となったが、今年度は順位を 4 つ下げて 9 位となった。平均スコアは、平成 29 年度が 0.290、前年度が 0.301 と上昇していたが、今年度は 0.192 と下降に転じた。

- ◇ 10 位の「防災対策の充実」は、平成 28 年度は 17 位であったが、平成 29 年度は順位が 6 つ上がって 11 位になり、前年度は更に順位が 3 つ上がり、8 位にランクインした。今年度は順位を 2 つ下げ 10 位となった。平均スコアは、平成 29 年度は 0.143、前年度は 0.213 と上昇したが、今年度 0.178 と下降に転じた。

(表2-2) 市政要望の経年変化

(要望)「今後、もっと力を入れてほしい」

〔順位〕と平均スコア

ア]

調査項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
子育て、 人材育成、 教育、	1 子育て支援の推進	(2) .511	(2) .493	(2) .477
	2 学校教育の充実	(6) .278	(6) .299	(4) .301
	3 青少年の健全育成の推進	(8) .190	(9) .198	(13) .152
	4 学術の振興（学術研究都市の推進、市立大学の充実など）	(32) .048	(30) .051	(33) .037
	5 生涯学習の推進	(22) .095	(23) .090	(23) .081
健康、 安心・ 安全	6 医療・衛生管理体制の充実（救急医療、感染症対策など）	(3) .353	(3) .304	(5) .297
	7 防犯、暴力追放運動の推進	(5) .290	(5) .301	(9) .192
	8 防災体制の充実	(11) .143	(8) .213	(10) .178
	9 消費者被害防止対策	(26) .069	(27) .072	(30) .060
	10 高齢社会対策の推進	(1) .838	(1) .784	(1) .877
	11 障害者施策の推進	(12) .138	(13) .151	(15) .149
	12 健康づくりの推進（検診、予防、食育など）	(17) .127	(14) .134	(14) .152
	13 人権の尊重と男女共同参画（あらゆる分野への女性の参画）の推進	(34) .038	(32) .047	(32) .050
14 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	(13) .137	(19) .115	(19) .120	
快適な暮らし、 文化・ スポーツ	15 公園の整備など、緑のまちづくりの推進	(16) .132	(15) .130	(17) .137
	16 都市景観の整備（まち並みづくりと歴史的建造物の活用など）	(30) .062	(28) .071	(28) .068
	17 住宅供給の促進・快適な住環境の整備	(20) .102	(21) .107	(21) .105
	18 駐車対策	(10) .158	(11) .165	(11) .169
	19 身近な生活道路の整備	(7) .216	(7) .220	(6) .219
	20 芸術・文化活動の振興	(25) .071	(29) .066	(22) .096
	21 スポーツの振興	(29) .063	(31) .048	(29) .062
	22 地域コミュニティづくりの支援	(24) .074	(24) .088	(27) .071
	23 ボランティア・NPO活動の支援	(33) .039	(34) .035	(34) .028
	24 市役所の窓口サービスの向上	(9) .164	(16) .123	(20) .114
産業	25 産業の振興（企業の誘致・成長支援、雇用の促進など）	(4) .346	(3) .304	(3) .391
	26 観光・コンベンション（大規模な会議など）の振興	(31) .049	(32) .047	(31) .057
都市基盤 ・物流	27 市街地の整備・再開発	(14) .136	(16) .123	(15) .149
	28 交通・物流（空港、港湾など）機能の強化	(23) .077	(25) .080	(24) .080
	29 道路・交通ネットワークの整備	(19) .108	(12) .161	(12) .164
環境	30 ごみの適正処理とリサイクル	(21) .098	(20) .114	(18) .127
	31 大気・騒音・水質などの環境保全	(18) .116	(18) .121	(8) .193
	32 地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進	(15) .135	(10) .174	(7) .208
	33 自然環境の保全と自然とのふれあいの推進	(27) .066	(26) .078	(25) .077
交流・ 連携	34 アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり	(27) .066	(21) .107	(26) .072

注) 順位：1位3点、2位2点、3位1点を合計した順位（表2-1）をそのまま表示

平均スコア：1位3点、2位2点、3位1点を合計し、回答者数で割ったもの

(表2-2) その2 市政要望の推移(上位10位)

( )内は得点数で、1位3点、2位2点、3位1点として計算

順位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	高齢社会対策の推進(975)	高齢社会対策の推進(1,006)	高齢社会対策の推進(826)	高齢社会対策の推進(1,053)
2位	子育て支援の推進(768)	子育て支援の推進(614)	子育て支援の推進(519)	子育て支援の推進(573)
3位	防犯、暴力追放運動の推進(581)	医療・衛生管理体制の充実(424)	医療・衛生管理体制の充実(320)	産業の振興(469)
4位	医療・衛生管理体制の充実(437)	産業の振興(416)	産業の振興(320) ※同スコア3位	学校教育の充実(361)
5位	産業の振興(434)	防犯、暴力追放運動の推進(348)	防犯、暴力追放運動の推進(317)	医療・衛生管理体制の充実(357)
6位	学校教育の充実(416)	学校教育の充実(334)	学校教育の充実(315)	身近な生活道路の整備(263)
7位	青少年の健全育成の推進(259)	身近な生活道路の整備(260)	身近な生活道路の整備(232)	地球温暖化対策などの推進(250)
8位	駐車対策(241)	青少年の健全育成の推進(228)	防災体制の充実(224)	大気・騒音・水質などの環境保全(232) ※H30年度18位
9位	身近な生活道路の整備(228)	市役所の窓口サービスの向上(197)	青少年の健全育成の推進(209)	防犯、暴力追放運動の推進(230)
10位	市役所の窓口サービスの向上(198)	駐車対策(190)	地球温暖化対策などの推進(183)	防災体制の充実(214)
11位	大気・騒音・水質などの環境保全(193)	11 防災体制の充実(172) ※H28年度17位	11 駐車対策(174)	11 駐車対策(203)
12位	ワーク・ライフ・バランスの推進(181)	12 障害者施策の推進(166)	12 道路・交通ネットワークの整備(170) ※H29年度19位	12 道路・交通ネットワークの整備(197)
13位	障害者施策の推進(177)	13 ワーク・ライフ・バランスの推進(165)	13 障害者施策の推進(159)	13 青少年の健全育成の推進(183)
14位	市街地の整備・再開発(175)	14 市街地の整備・再開発(163)	14 健康づくりの推進(141) ※H29年度17位	14 健康づくりの推進(182)
15位	15 道路・交通ネットワークの整備(172)	15 地球温暖化対策などの推進(162) ※H28年度16位	15 緑のまちづくりの推進(137) ※H29年度16位	15 障害者施策の推進(179)
				16 市街地の整備・再開発(179) ※同スコア15位 ※H30年度16位

### (3) 属性別にみた特徴

今年度調査における市民要望の回答結果を対象者の属性別にみていくと、以下のような特徴を指摘することができる。(表2-3) 参照

#### ① 性別

- ◇ 総合1位となった「高齢社会対策の推進」をみると、前年度男女ともに1位であり、今年度もともに1位となった。平均スコア(総合0.877)は、男性が女性を上回り、今年度は男性(0.884)が女性(0.875)となった。
- ◇ 総合2位の「子育て支援の推進」は、女性が2位、男性が3位と、要望が強く総合で2位となった。平均スコア(総合0.477)は、女性が男性を上回り、今年度は女性(0.500)が男性(0.449)となった。
- ◇ 総合3位の「産業の振興」は、前年度は男性3位、女性7位であったが、今年度の男性は2位に対し、女性は順位5位となった。平均スコア(総合0.391)でも、男性(0.508)が女性(0.312)を上回り、男性からの要望がより強いという結果となった。
- ◇ 総合4位の「学校教育の充実」は女性が3位、男性が4位となった。平均スコア(総合0.301)も、女性(0.337)が男性(0.243)を上回った。
- ◇ 総合5位の「医療・衛生管理体制の充実」は前年度、男性が5位、女性が4位であったが、今年度は男性が6位、女性が4位となった。平均スコア(総合0.297)は、女性(0.334)が男性(0.232)を上回り、この項目に対する市民要望は例年同様、女性の方が高かった。
- ◇ 総合6位の「身近な生活道路の整備」は女性、男性ともに7位となった。平均スコア(総合0.219)は、女性(0.221)が男性(0.219)をわずかに上回った。
- ◇ 総合7位の「地球温暖化対策」は女性が6位、男性が11位となった。平均スコアは女性(0.242)が男性(0.157)を上回った。
- ◇ 総合8位の「大気・騒音・水質などの環境保全」は女性が8位、男性9位となった。平均スコア(総合0.193)は女性(0.213)が男性(0.166)を上回った。
- ◇ 総合9位の「防犯、暴力追放運動の推進」は男性が5位、女性が12位と男性からの要望が強くあった。平均スコア(総合0.192)は、男性(0.241)が女性(0.158)を上回った。
- ◇ 総合10位の「防災体制の充実」は女性が9位、男性が12位となった。平均スコア(総合0.178)は女性(0.195)が男性(0.155)を上回った。

#### ② 年齢別

- ◇ 総合1位の「高齢社会対策の推進」をみると、前年度は10・20歳代で3位、30歳代で4位、これ以外の全ての年齢層で1位に入っていた。今年度は10・20歳代で4位、30歳代で3位、40歳代で2位、これ以外の全ての年齢層で1位に入っており、引き続き全年齢層を通じて高い要望順位となっている。平均スコア(総合0.877)は、60歳代(1.233)、70歳以上(1.022)、50歳代(0.969)の順に高く、50歳代以上の各年齢層で0.900水準を上回っている。最も低いのは30歳代(0.384)であった。
- ◇ 総合2位となった「子育て支援の推進」は、前年度は10・20歳代、30歳代で1位、40歳代、60歳代及び70歳以上で2位、50歳代で4位であった。今年度は10・20歳代及び30歳代で1位、60歳代で2位、40歳代、50歳代で3位となり、例年どおり子育て

世代である若年層を中心に、各年齢層で要望順位の上位に入っている。平均スコア（総合 0.477）では、最も高い 30 歳代（1.241）が突出しており、10・20 歳代（0.716）も 0.700 水準を上回っている。一方、最も低かったのは 70 歳以上（0.253）で、世代間での差が比較的大きく出ている。

- ◇ 総合 3 位となった「産業の振興」は、前年度は、50 歳代、60 歳代及び 70 歳以上の 3 位を筆頭に、30 歳代、40 歳代で 7 位であった。今年度は、50 歳代、70 歳以上の 2 位を筆頭に、60 歳代で 3 位と、比較的年齢の高い層からの要望が強く見られた。なお、30 歳代は 7 位、10・20 歳代は 8 位となっている。平均スコア（総合 0.391）では、50 歳代（0.500）が最も高く、次いで 70 歳以上（0.421）、60 歳代（0.395）と続き、スコアが低い 30 歳代（0.241）、10・20 歳代（0.259）では 0.300 水準を下回っている。
- ◇ 総合 4 位の「学校教育の充実」は、40 歳代の 1 位を筆頭に、30 歳代で 2 位に入っているが、70 歳以上で 9 位、50 歳代、60 歳代で 10 位と、やや傾向が分かれている。平均スコア（総合 0.301）も、最も高い 40 歳代（0.641）が突出しており、次いで 30 歳代（0.589）、10・20 歳代（0.222）と続いた。
- ◇ 総合 5 位の「医療・衛生管理体制の充実」は、前年度は、40 歳代で 3 位、60 歳代で 4 位、50 歳代で 5 位、30 歳代で 6 位、70 歳以上で 7 位となっている。今年度は、40 歳代、50 歳代、70 歳以上で 4 位、10・20 歳代、30 歳代、60 歳代で 5 位となった。平均スコア（総合 0.297）では、40 歳代（0.380）が最も高く、次いで 50 歳代（0.327）、30 歳代（0.286）と続き、全ての年齢層で 0.200 水準を上回っている。
- ◇ 総合 6 位の「身近な生活道路の整備」は、50 歳代、70 歳以上で 6 位、40 歳代で 8 位、60 歳代で 9 位だが、10・20 歳ではランク外と、傾向が分かれている。平均スコア（総合 0.219）も、50 歳代（0.260）を筆頭に、70 歳以上（0.253）、40 歳代（0.208）と続き、比較的年齢の高い層からの要望が強い傾向がみられた。
- ◇ 総合 7 位の「地球温暖化対策」は 70 歳以上の 3 位を筆頭に、60 歳代で 4 位と、年齢の高い層で 7 位以内となったが、他の年齢層ではランク外となった。
- ◇ このほかの特徴としては、総合 8 位の「大気・騒音・水質などの環境保全」は、30 歳代で 4 位、60 歳代で 8 位、10・20 歳代、50 歳代で 9 位となった。若い年齢層からの要望が強かった。
- 総合 9 位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、10・20 歳代で 3 位、70 歳以上で 7 位、40 歳代で 9 位、30 歳代で 12 位となった。
- 総合 10 位の「防災体制の充実」は、40 歳代の 6 位を筆頭に、70 歳以上で 8 位、10・20 歳代で 10 位、60 歳代で 11 位と続いている。全ての年齢層からの要望が強い傾向がみられた。

### ③ 居住年数別

ここでは、標本数が少ない 2 年未満（5 サンプル）、3 年未満（2 サンプル）を除いた居住年数別でみることにする。

- ◇ 総合 1 位の「高齢社会対策の推進」は、平均スコア（総合 0.877）で、30 年以上（1.012）が最も高く、次いで 20 年未満（0.704）、30 年未満（0.675）、5 年未満（0.568）と続き、これらの居住年数層で 0.500 水準を上回った。
- ◇ 総合 2 位の「子育て支援の推進」は、1 年未満、5 年未満、10 年未満の 1 位を筆頭に、20 年未満、30 年未満で 2 位、30 年以上で 3 位となっており、全ての居住歴に要望順位

が高かった。平均スコア（総合 0.477）で、1年未満（1.250）、2年未満（0.932）と続き、居住歴が短い層からの要望が強い傾向にあった。

- ◇ 総合3位の「産業の振興」は、1年未満、30年以上の2位を筆頭に、20年未満で3位、10年未満、30年未満で4位であったが、5年未満は9位と、この項目も居住歴が長い層を中心に要望順位が高かった。平均スコア（総合 0.391）では、1年未満（0.500）、が最も高く、次いで30年以上（0.412）、10年未満（0.404）、20年未満（0.393）、30年未満（0.331）と続いた。
- ◇ 総合4位の「学校教育の充実」は、10年未満の2位を筆頭に、30年未満で3位、20年未満で4位、5年未満、30年以上で5位と、これらの層では5位以内にランクインしている。平均スコア（総合 0.301）は、30年未満（0.413）が最も高く、次いで10年未満（0.404）と続き、これらの居住年数層で0.400水準を上回った。
- ◇ 総合5位の「医療・衛生管理体制の充実」は、5年未満の3位を筆頭に、1年未満、30年以上で4位、30年未満で5位、20年未満で6位、10年未満で7位と、全ての層でトップ10入りした。平均スコア（総合 0.297）では、1年未満（0.438）、5年未満（0.409）と、これらの居住年数で0.400水準を上回った。
- ◇ 総合6位の「身近な生活道路の整備」は、20年未満の5位を筆頭に、30年以上で6位、5年未満で8位と、これらの層ではトップ10入りしているが、居住年数によって順位にバラツキがみられた。
- ◇ 総合7位の「地球温暖化対策」は、30年以上の7位を筆頭に、30年未満で10位と、これらの居住年数層でトップ10にランクインしているが、居住年数によって順位にバラツキがみられた。
- ◇ 総合8位の「大気・騒音・水質などの環境保全」は、5年未満の4位を筆頭に、30年以上で8位、1年未満、20年未満で10位となっており、これらの層でトップ10にランクインしている。
- ◇ 総合9位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、5年未満の6位を筆頭に、20年未満、30年未満で7位、1年未満で8位、30年以上で11位と、居住歴を問わず全ての層でランクインしている。
- ◇ 総合10位の「防災体制の充実」は、30年以上の9位を筆頭に、5年未満、30年未満で11位と比較的、居住歴が長い層からの要望が強い傾向にあった。

#### ④ 職業別

ここでは、標本数が少ない農・林・漁業（4サンプル）を除いた職業別でみることにする。

- ◇ 総合1位の「高齢社会対策の推進」は、前年度は、すべて職業層（サンプル数の少ない自由業を除く）で2位以内にランクインした。今年度は、会社員、自由業で2位、学生で3位、その他の全ての職業層で1位となっている。つまり全ての職業層で3位以内にランクインしており、今年度も全職業層から要望が強いことがうかがえる結果となっている。平均スコア（総合 0.877）は、無職（1.030）を筆頭に、主婦・主夫（パートなど）（1.015）、主婦・主夫（専業）（0.901）と続き、最も低い学生（0.438）と、全ての職業層で0.400水準を上回った。
- ◇ 総合2位の「子育て支援の推進」は、前年度は、自由業1位、会社員、主婦・主夫（パートなど）、主婦・主夫（専業）、学生、無職及びその他で2位、自営業で6位、公務員・

教員で8位となり、全ての職業層で8位以内にランクインした。今年度は、自由業、会社員で1位、主婦・主夫（パートなど）、主婦・主夫（専業）で2位、その他で3位、公務員・教員、無職で4位、学生で5位、自営業で7位となり、全ての職業層で7位以内にランクインした。平均スコア（総合0.477）では、自由業（0.917）を筆頭に、会社員（0.728）、主婦・主夫（専業）（0.482）、その他（0.481）と続き、最も低かったのは自営業（0.268）であった。

- ◇ 総合3位の「産業の振興」は、前年度は、自営業、自由業の2位を筆頭に、会社員及び無職で3位、公務員・教員で4位、その他で5位、主婦・主夫（パートなど）で6位、主婦・主夫（専業）で7位、学生で11位と、全ての職業層で11位以内にランクインした。今年度は、自営業、無職、その他の2位を筆頭に、会社員、公務員・教員で3位、自由業で4位、主婦・主夫（パートなど）で5位、主婦・主夫（専業）で8位、学生で10位と、全ての職業層で10位以内にランクインした。平均スコア（総合0.391）は、自営業（0.648）が最も高く、次いで公務員・教員（0.588）、その他（0.574）と続き、最も低かったのは、主婦・主夫（専業）（0.243）であった。
- ◇ 総合4位の「学校教育の充実」は、公務員・教員での2位が最も高く、次いで主婦・主夫（パートなど）、主婦・主夫（専業）で3位、会社員での4位、自由業で5位、その他での7位、自営業、無職で8位と続き、学生を除いた全ての職業層でトップ10入りした。例年、公務員・教員からの要望で最も上位となる傾向にあり、今年度も公務員・教員で2位となっている。
- ◇ 総合5位の「医療・衛生管理体制の充実」は、前年度は、主婦・主夫（パートなど）で3位、会社員、無職及びその他で4位、公務員・教員で5位、自営業で7位、主婦・主夫（専業）で9位、学生で17位と、学生を除く全ての職業層でトップ10入りした。今年度は、主婦・主夫（パートなど）、主婦・主夫（専業）、その他で4位、自営業、会社員で5位、無職で6位と続き、これらの職業層でトップ10入りした。平均スコア（総合0.297）は、その他（0.444）が最も高く、次いで主婦・主夫（パートなど）（0.383）、主婦・主夫（専業）（0.356）、自営業（0.324）と続いた。
- ◇ 総合6位の「身近な生活道路の整備」は、主婦・主夫（専業）、無職での5位が最も高く、自営業で6位、会社員で7位、学生で8位、公務員・教員で10位と続き、これらの職業層でトップ10入りした。
- ◇ 総合7位の「地球温暖化対策」では、無職で3位が最も高く、次いで主婦・主夫（専業）で6位、主婦・主夫（パートなど）で7位となった。これらの職業層で比較的要望順位が高かった。
- ◇ 総合8位の「大気・騒音・水質などの環境保全」は、自営業で4位が最も高く、次いで主婦・主夫（パートなど）で6位、主婦・主夫（専業）で7位、自由業で11位、無職で12位となった。
- ◇ 総合9位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、学生で1位となった。次いでその他で5位、無職で7位、自由業、公務員・教員で8位、会社員で9位となった。5つの職業層でトップ10に入った。
- ◇ 総合10位の「防災体制の充実」では、公務員・教員で6位が最も高く、学生で7位、主婦・主夫（専業）で10位、会社員、主婦・主夫（パートなど）、無職で11位となった。

(表2-3) 属性別にみた市政要望トップ12 【1/2】

区分		回答者数	北九州市が行っている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。											
			今後、もっと力を入れてほしい											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位
全体		1,201	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	医療衛生	生活道路	温暖化	環境保全	暴力追放	防災体制	駐車対策	道路路網
性別	男性	465	高齢社会	産業振興	子育て	学校教育	暴力追放	医療衛生	生活道路	市街地	環境保全	駐車対策	温暖化	防災体制
	女性	728	高齢社会	子育て	学校教育	医療衛生	産業振興	温暖化	生活道路	環境保全	防災体制	道路路網	駐車対策	暴力追放
	無回答	8	医療衛生	産業振興	高齢社会	国際交流	学校教育	暴力追放	公園整備	障害者	健康推進	芸術文化	市役所	健全育成
			0.750	0.750	0.625	0.500	0.375	0.375	0.375	0.250	0.250	0.250	0.250	0.125
年齢別	10・20歳代	81	子育て	WLB	暴力追放	高齢社会	医療衛生	公園整備	住宅対策	産業振興	環境保全	防災体制	学校教育	障害者
	30歳代	112	子育て	学校教育	高齢社会	環境保全	医療衛生	公園整備	産業振興	駐車対策	健全育成	ごみ処理	生活道路	暴力追放
	40歳代	192	学校教育	高齢社会	子育て	医療衛生	産業振興	防災体制	健全育成	生活道路	暴力追放	障害者	市街地	道路路網
	50歳代	196	高齢社会	産業振興	子育て	医療衛生	市街地	生活道路	道路路網	駐車対策	環境保全	学校教育	市役所	障害者
	60歳代	253	高齢社会	子育て	産業振興	温暖化	医療衛生	駐車対策	健康推進	環境保全	生活道路	学校教育	防災体制	市役所
	70歳以上	359	高齢社会	産業振興	温暖化	医療衛生	子育て	生活道路	暴力追放	防災体制	学校教育	道路路網	健全育成	駐車対策
	無回答	8	医療衛生	産業振興	高齢社会	国際交流	学校教育	暴力追放	公園整備	障害者	健康推進	芸術文化	市役所	健全育成
			0.750	0.750	0.625	0.500	0.375	0.375	0.375	0.250	0.250	0.250	0.250	0.125
居住年数別	1年未満	16	子育て	産業振興	ごみ処理	医療衛生	高齢社会	公園整備	駐車対策	暴力追放	学校教育	環境保全	住宅対策	芸術文化
	2年未満	5	子育て	暴力追放	温暖化	市街地	環境保全	WLB	住宅対策	ボラ支援	高齢社会	人権尊重	公園整備	産業振興
	3年未満	2	高齢社会	医療衛生	道路路網	市街地	国際交流							
	5年未満	44	子育て	高齢社会	医療衛生	環境保全	学校教育	暴力追放	市街地	生活道路	産業振興	道路路網	防災体制	障害者
	10年未満	57	子育て	学校教育	高齢社会	産業振興	WLB	公園整備	医療衛生	駐車対策	障害者	道路路網	温暖化	市街地
	20年未満	135	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	生活道路	医療衛生	暴力追放	障害者	住宅対策	環境保全	健全育成	WLB
	30年未満	160	高齢社会	子育て	学校教育	産業振興	医療衛生	WLB	暴力追放	駐車対策	市街地	道路路網	温暖化	防災体制
	30年以上	775	高齢社会	産業振興	子育て	医療衛生	学校教育	生活道路	温暖化	環境保全	防災体制	健康推進	暴力追放	健全育成
	無回答	7	医療衛生	高齢社会	国際交流	学校教育	暴力追放	公園整備	産業振興	障害者	健康推進	芸術文化	市役所	健全育成
			0.857	0.714	0.571	0.429	0.429	0.429	0.429	0.286	0.286	0.286	0.286	0.143

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

(表 2-3) 属性別にみた市政要望トップ 12 【2/2】

市政要望		(数値は平均スコア)											
区分	回答者数	北九州市が行っている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。											
		今後、もっと力を入れてほしい											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位
全体	1,201	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	医療衛生	生活道路	温暖化	環境保全	暴力追放	防災体制	駐車対策	道路網
0.877	0.477	0.391	0.301	0.297	0.219	0.208	0.193	0.192	0.178	0.169	0.169	0.164	
自営業	71	高齢社会	産業振興	芸術文化	環境保全	医療衛生	生活道路	子育て	学校教育	市街地	WLB	温暖化	スポーツ
0.789	0.648	0.394	0.366	0.324	0.282	0.268	0.211	0.197	0.169	0.169	0.169	0.155	
自由業	12	子育て	高齢社会	WLB	産業振興	学校教育	市街地	育成	追放	健康推進	芸術文化	環境保全	国際交流
0.917	0.667	0.667	0.500	0.417	0.417	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	
会社員	313	子育て	高齢社会	産業振興	学校教育	医療衛生	駐車対策	生活道路	道路網	暴力追放	市街地	防災体制	健康推進
0.728	0.725	0.495	0.281	0.259	0.217	0.214	0.198	0.195	0.188	0.185	0.185	0.166	
公務員・教員	34	高齢社会	学校教育	産業振興	子育て	市街地	防災体制	WLB	暴力追放	公園整備	生活道路	住宅対策	市役所
0.794	0.618	0.588	0.471	0.382	0.324	0.324	0.324	0.235	0.235	0.235	0.176	0.176	
農・林・漁業	4	子育て	健全育成	人権尊重	温暖化	暴力追放	防災体制	高齢社会	生活道路	医療衛生	駐車対策	交通物流	環境保全
0.750	0.750	0.750	0.750	0.500	0.500	0.500	0.500	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	
職業別	201	高齢社会	子育て	学校教育	医療衛生	産業振興	環境保全	温暖化	育成	公園整備	道路網	防災体制	生活道路
1.015	0.418	0.388	0.383	0.318	0.229	0.214	0.204	0.179	0.179	0.169	0.169	0.169	
主婦・主夫(パートなど)	222	高齢社会	子育て	学校教育	医療衛生	生活道路	温暖化	環境保全	産業振興	健康育成	防災体制	障害者対策	駐車対策
0.901	0.482	0.369	0.356	0.275	0.270	0.252	0.243	0.212	0.207	0.207	0.207	0.198	
学生	16	暴力追放	WLB	高齢社会	人権尊重	子育て	学術振興	防災体制	生活道路	駐車対策	産業振興	健全育成	医療衛生
0.563	0.563	0.438	0.438	0.375	0.375	0.375	0.313	0.250	0.250	0.250	0.188	0.188	
無職	264	高齢社会	産業振興	温暖化	子育て	生活道路	医療衛生	暴力追放	学校教育	健康推進	道路網	防災体制	環境保全
1.030	0.314	0.314	0.277	0.239	0.220	0.220	0.205	0.197	0.197	0.167	0.167	0.148	
その他	54	高齢社会	産業振興	子育て	医療衛生	暴力追放	駐車対策	学校教育	住宅環境	WLB	市街地	道路網	道路
0.796	0.574	0.481	0.444	0.333	0.333	0.259	0.204	0.204	0.167	0.167	0.167	0.167	
無回答	10	高齢社会	医療衛生	産業振興	国際交流	学校教育	暴力追放	消費税	障害者	公園整備	健康推進	芸術文化	市役所
0.700	0.600	0.600	0.400	0.300	0.300	0.300	0.300	0.300	0.300	0.200	0.200	0.200	

※平均スコアは小数点以下第4位を四捨五入

#### (4) 地区別にみた特徴(表2-4)参照

##### ① 行政区別にみた特徴

- ◇ 総合1位となった「高齢社会対策の推進」は、前年度は7区全てで1位であった。今年度も7区全てで1位となり、依然として区を問わず最も市民要望が強い項目となっている。平均スコア(総合0.877)は、戸畑区(1.063)が最も高く、次いで門司区(1.008)、八幡西区(0.956)と続いた。最も低かったのは小倉北区(0.705)であるが、全ての区で0.700水準以上となり、全体的に高いスコアとなった。
- ◇ 総合2位の「子育て支援の推進」は、前年度は八幡東区で3位、そのほかの6区では全て2位となり、この項目も全ての区で市民要望の上位に入っている。今年度は八幡東区で3位、門司区で4位、そのほかの5区では全て2位となり、この項目も全ての区で市民要望の上位に入っている。平均スコア(総合0.477)は、若松区(0.574)が最も高く、次いで戸畑区(0.550)、小倉北区(0.507)と続き、最も低かったのは門司区(0.317)であった。門司区を除く全ての地区で0.400水準以上となった。
- ◇ 総合3位の「産業の振興」は、前年度は若松区での3位を筆頭に、門司区、小倉南区、八幡西区及び戸畑区で4位、小倉北区で5位、八幡東区で6位と、全ての地区で6位以内にランクインした。今年度は、八幡東区での2位を筆頭に、門司区、小倉北区、若松

区、八幡西区及び戸畑区で3位、小倉南区で4位と、全ての区で4位以内にランクインした。平均スコア（総合 0.391）は、八幡東区（0.591）が最も高く、門司区（0.413）、若松区（0.400）と続き、最も低かった小倉南区（0.313）と、全ての地区で0.300水準を上回った。

- ◇ 総合4位の「学校教育の充実」は、小倉南区の3位を筆頭に、小倉北区、戸畑区で4位、門司区、八幡西区で5位、若松区で7位、八幡東区で8位と、全ての地区で8位以内にランクインした。平均スコア（総合 0.301）は、小倉南区（0.424）が最も高く、小倉北区（0.333）、戸畑区（0.288）と続き、最も低い八幡東区（0.182）を除く6つの地区で0.200水準を上回った。
- ◇ 総合5位の「医療・衛生管理体制の充実」は、門司区の2位が最も高く、八幡西区で4位、小倉北区、小倉南区、八幡東区で5位、戸畑区で6位、若松区で8位となり、全ての区で8位にランクインした。平均スコア（総合 0.297）は、門司区（0.437）が最も高く、次いで八幡東区（0.318）、小倉南区（0.309）と続いた。
- ◇ 総合6位の「身近な生活道路の整備」は、八幡東区の4位を筆頭に、若松区で5位、小倉南区、八幡西区で6位、小倉北区で7位、門司区及び戸畑区は上位10位圏外と、区によってバラツキがみられた。平均スコア（総合 0.219）は、八幡東区（0.364）が最も高く、若松区（0.252）、小倉南区（0.239）、八幡西区（0.225）、小倉北区（0.222）と続き、これらの区で0.200水準を上回った。
- ◇ 総合7位の「地球温暖化対策」は、八幡東区の6位を筆頭に、門司区で7位、小倉南区、若松区、八幡西区で9位、小倉北区で10位、戸畑区で12位と、全ての地区で12以内にラインクインした。
- ◇ 総合8位の「大気・騒音・水質などの環境保全」は、若松区の6位を筆頭に、八幡西区で8位、小倉北区で9位、門司区で10位、戸畑区で11位と、地区によってバラツキがみられた。
- ◇ 総合9位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、戸畑区の5位を筆頭に、小倉北区で6位、小倉南区で10位、八幡東区、八幡西区で11位、門司区で12位と、若松区を除く全ての地区で12位以内にランクインした。
- ◇ 総合10位の「防災体制の充実」は、門司区の6位を筆頭に、小倉南区、戸畑区で7位、小倉北区、八幡東区で12位となった。

## ② 18 地区別にみた特徴

一般的に言うならば、施策や事業に対する市民の要望は、年齢や職業といった個人属性の違いによる相違のほか、ごく身近な生活圏の地理・環境など、日常生活に根ざした地域の事情が反映される。よって以下では、より身近で実情に即した市民の要望を確認するため、18地区に細分化した地区別の特徴をみていく。

- ◇ 総合1位の「高齢社会対策の推進」は、前年度は小倉、若松の2地区で2位、これ以外の16地区全てで1位であった。今年度は18地区全てで1位となり、引き続き地区を問わず市民要望が強い項目となっている。平均スコア（総合 0.877）では、門司（東部）（1.115）が最も高く、次いで黒崎（1.077）、戸畑（1.063）、門司港（1.033）と続き、これら4地区で1.000水準以上となった。
- ◇ 総合2位の「子育て支援の推進」は、前年度は小倉及び若松の2地区で1位、門司（大里）、八幡東（西部）及び折尾の3地区で3位、城野及び二島の2地区で5位と続き、ラ

ンク外の門司（東部）地区を除く 10 地区で 2 位であった。今年度は門司港、小倉、小倉（東部）、小倉（西部）、曾根、徳力、若松、二島、八幡東（西部）、黒崎、上津役及び戸畑の 12 地区で 2 位、門司（東部）、城野、八幡東（東部）、折尾の 4 地区で 3 位、香月の 1 地区で 4 位、門司（大里）で 7 位と続き、順位のバラツキの幅は前年度より広がった。平均スコア（総合 0.477）では、徳力地区（0.639）が最も高く、次いで二島地区（0.627）で、これらの 2 地区では 0.600 水準を上回った。

- ◇ 総合 3 位の「産業の振興」は、前年度は二島の 2 位を筆頭に、2 地区で 3 位、3 地区で 4 位、1 地区で 5 位、3 地区で 6 位、1 地区で 7 位、4 地区で 8 位、1 地区で 9 位であった。今年度は、門司（大里）、八幡東（東部）、折尾の 3 地区で 2 位を筆頭に、小倉、小倉（西部）、若松、二島、黒崎、上津役、香月、戸畑の 8 地区で 3 位、門司港、小倉（東部）、徳力の 3 地区で 4 位、城野の 1 地区で 5 位、曾根の 1 地区で 6 位、門司（東部）の 1 地区で 8 位となった。平均スコア（総合 0.391）は、八幡東（東部）（0.863）が最も高く、次いで小倉（0.489）と続いた。最も低いのは八幡東（西部）（0.216）であった。
- ◇ 総合 4 位の「学校教育の充実」は、前年度は、小倉、小倉（西部）、八幡東（東部）及び戸畑の 4 地区の 3 位を筆頭に、門司（大里）、城野、若松、二島、八幡東（西部）及び折尾の 5 地区を除く 13 地区で 8 位以内にランクインしていた。今年度は、城野、香月の 2 地区での 2 位を筆頭に、門司港、曾根、徳力の 3 地区で 3 位、小倉、小倉（西部）、戸畑の 3 地区で 4 位、二島、八幡東（西部）、上津役の 3 地区で 5 位、黒崎の 1 地区で 6 位、折尾の 1 地区で 7 位、小倉（東部）の 1 地区で 9 位、若松の 1 地区で 11 位と、順位のバラツキの幅は前年度より広がった。平均スコア（総合 0.301）は、城野（0.509）が最も高く、次いで小倉（0.468）、曾根（0.457）、香月（0.439）、門司港（0.433）と続き、これらの 5 地区では 0.400 水準以上となった。一方、最も低いのは若松（0.161）であった。
- ◇ 総合 5 位の「医療・衛生管理体制の充実」は、前年度は 2 位の八幡東（西部）の 2 位を筆頭に、2 位から 15 位の間にはランクインしていた。今年度は、門司（東部）の 1 地区での 2 位を筆頭に、3 地区で 3 位、3 地区で 4 位、1 地区で 5 位、6 地区で 6 位、1 地区で 8 位、1 地区で 10 位と、順位のバラツキの幅は前年度より狭くなった。平均スコア（総合 0.297）は、門司（東部）（0.731）が最も高く、次いで門司（大里）（0.429）、城野（0.418）、八幡東（西部）（0.405）と続き、これらの 4 地区では 0.400 水準以上となった。一方、ランク外となったのは小倉（西部）、二島の 2 地区であった。
- ◇ 総合 6 位の「身近な生活道路の整備」では、八幡東（東部）、八幡東（西部）の 2 地区での 4 位を筆頭に、12 位までに 14 地区がランクインしている。
- ◇ 総合 7 位の「地球温暖化対策」では、門司（大里）、二島での 4 位を筆頭に、12 位までに 14 地区がランクインしている。
- ◇ このほかの特徴としては、総合 8 位の「大気・騒音・水質などの環境保全」は、上津役での 4 位を筆頭に、12 位までに 11 地区がランクインしており、総合 9 位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、小倉、小倉（西部）、戸畑の 3 地区で 5 位を筆頭に、12 位までに 10 地区がランクインしている。総合 10 位の「防災体制の充実」は、門司港、曾根の 2 地区での 5 位を筆頭に、12 位までに 9 地区がランクインしている。

以上、ここで指摘した 18 地区別の市政要望の詳細については、（表 2-4）「地区別に見た市政要望ベスト 12」、あるいは巻末資料編をご参照いただきたい。

(表2-4) 地区別にみた市政要望トップ12 【1/2】

市政要望

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行っている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。											
		今後、もっと力を入れてほしい											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位
全体	1,201	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	医療衛生	生活道路	温暖化	環境保全	暴力追放	防災体制	駐車対策	道路路網
門司区	126	高齢社会	医療衛生	産業振興	子育て	学校教育	防災体制	温暖化	環境L B	健全育成	環境保全	健康推進	暴力追放
小倉北区	207	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	医療衛生	暴力追放	生活道路	障害者	環境保全	温暖化	健全育成	防災体制
小倉南区	243	高齢社会	子育て	学校教育	産業振興	医療衛生	生活道路	防災体制	道路路網	温暖化	暴力追放	ごみ処理	駐車対策
若松区	115	高齢社会	子育て	産業振興	公園整備	生活道路	環境保全	学校教育	医療衛生	温暖化	市街地	駐車対策	健康推進
八幡東区	88	高齢社会	産業振興	子育て	生活道路	医療衛生	温暖化	ごみ処理	学校教育	観光振興	市街地	暴力追放	防災体制
八幡西区	342	高齢社会	子育て	産業振興	医療衛生	学校教育	生活道路	駐車対策	環境保全	温暖化	道路路網	暴力追放	健康推進
戸畑区	80	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	暴力追放	医療衛生	防災体制	駐車対策	芸術文化	市街地	環境保全	温暖化
門司港	30	高齢社会	子育て	学校教育	産業振興	防災体制	環境保全	生活道路	暴力追放	駐車対策	医療衛生	温暖化	W L B
門司(大里)	70	高齢社会	産業振興	医療衛生	温暖化	健康推進	W L B	子育て	健全育成	防災体制	学校教育	市街地	暴力追放
門司(東部)	26	高齢社会	医療衛生	子育て	健全育成	環境保全	市役所	学術振興	産業振興	道路路網	ごみ処理	住宅対策	防災体制
門司区計	126	高齢社会	医療衛生	産業振興	子育て	学校教育	防災体制	温暖化	W L B	健全育成	環境保全	健康推進	暴力追放
小倉	47	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	暴力追放	医療衛生	市街地	健全育成	防災体制	温暖化	駐車対策	市役所
小倉(東部)	99	高齢社会	子育て	医療衛生	産業振興	障害者	生活道路	環境保全	温暖化	学校教育	健全育成	市街地	道路路網
小倉(西部)	61	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	暴力追放	防災体制	道路路網	生活道路	住宅対策	自然保護	健康推進	交通物流
小倉北区計	207	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	医療衛生	暴力追放	生活道路	障害者	環境保全	温暖化	健全育成	防災体制
城野	55	高齢社会	学校教育	子育て	医療衛生	産業振興	障害者	道路路網	暴力追放	生活道路	健康推進	駐車対策	交通物流
曾根	116	高齢社会	子育て	学校教育	医療衛生	防災体制	産業振興	温暖化	生活道路	道路路網	ごみ処理	生涯学習	W L B
徳力	72	高齢社会	子育て	学校教育	産業振興	生活道路	医療衛生	暴力追放	環境保全	駐車対策	ごみ処理	温暖化	健康推進
小倉南区計	243	高齢社会	子育て	学校教育	産業振興	医療衛生	生活道路	防災体制	道路路網	温暖化	暴力追放	ごみ処理	駐車対策

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

(表2-4) 地区別にみた市政要望トップ12 【2/2】

市政要望

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行っている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。													
		今後、もっと力を入れてほしい													
		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位		
全体	1,201	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	医療衛生	生活道路	温暖化	環境保全	暴力追放	防災体制	駐車対策	道路網		
若松区	56	高齢社会	子育て	産業振興	公園整備	生活道路	医療衛生	環境保全	健康推進	市街地	障害者	学校教育	住宅対策		
		二島	59	高齢社会	子育て	産業振興	温暖化	学校教育	健全育成	公園整備	駐車対策	環境保全	生活道路	芸術文化	
		若松区計	115	高齢社会	子育て	産業振興	公園整備	生活道路	環境保全	学校教育	医療衛生	温暖化	市街地	駐車対策	健康推進
八幡東区	51	高齢社会	産業振興	子育て	生活道路	温暖化	医療衛生	観光振興	ごみ処理	防災体制	駐車対策	市街地	健全育成		
		八幡東(西部)	37	高齢社会	子育て	医療衛生	生活道路	学校教育	障害者	市役所	環境保全	温暖化	暴力追放	産業振興	公園整備
		八幡東区計	88	高齢社会	産業振興	子育て	生活道路	医療衛生	温暖化	ごみ処理	学校教育	観光振興	市街地	暴力追放	防災体制
八幡西区	91	高齢社会	子育て	産業振興	駐車対策	医療衛生	学校教育	防災体制	市役所	温暖化	市街地	環境保全	生活道路		
		折尾	106	高齢社会	産業振興	子育て	医療衛生	生活道路	道路網	学校教育	暴力追放	温暖化	公園整備	駐車対策	WLB
		上津役	88	高齢社会	子育て	産業振興	環境保全	学校教育	健康推進	暴力追放	医療衛生	駐車対策	温暖化	健全育成	生活道路
戸畑区	80	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	暴力追放	医療衛生	防災体制	駐車対策	芸術文化	市街地	環境保全	温暖化		
		戸畑区計	80	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	暴力追放	医療衛生	防災体制	駐車対策	芸術文化	市街地	環境保全	温暖化
		80	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	暴力追放	医療衛生	防災体制	駐車対策	芸術文化	市街地	環境保全	温暖化	

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

### 3 市政評価と市政要望の類型化

一般的に、ある行政施策が進展し市民の評価が高まれば、その施策に対する要望は必然的に後退するものと思われる。また、事件・事故などの発生によって課題として認識され、関心が高まった項目は、その終息に伴い急速に市民の要望が低下する場合もあるであろうし、その要望が持続的かつ高水準のまま維持される場合も起こり得る。

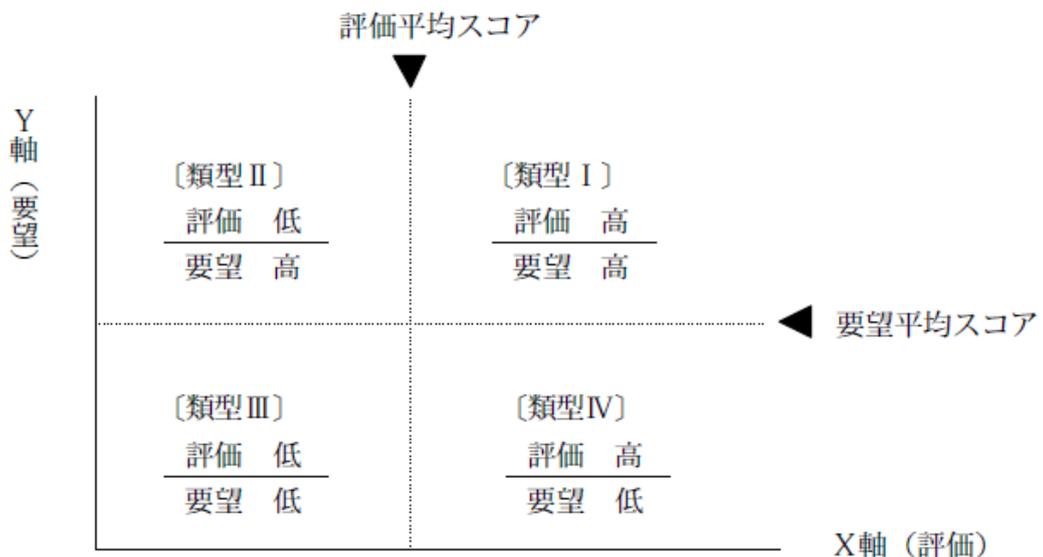
このような観点から、市政評価と市政要望の間には、何らかの相関関係があるとの前提に立ち、本報告書では、例年どおりの継続的な方法によって、34項目の施策・事業について相互の関係を簡潔にまとめてみる。

まず、今年度の調査結果について、X軸に市政評価、Y軸に市政要望の平均スコアを置いた平面上に34項目の施策・事業を分類し、各施策・事業に対する評価と要望の対応関係をみることにする。

(図3-1)に示すように、評価と要望の対応関係は、X軸上の評価平均スコアとY軸上の要望平均スコアによって〔類型Ⅰ〕～〔類型Ⅳ〕の4象限に区別される。それぞれの類型は、評価スコアと要望スコアの高低によって分類されており、次のように性格づけすることができる。

- 〔類型Ⅰ〕 これまでの行政努力を評価しながらも、なお、より高水準のサービスや改善が求められる追及・累進型の施策
- 〔類型Ⅱ〕 これまでの行政努力に対する評価が低く、今後の行政努力が強く期待される緊要型の施策
- 〔類型Ⅲ〕 行政努力に対する評価も低い、今後の要望・期待も弱い無関心・現状是認型の施策
- 〔類型Ⅳ〕 これまでの行政努力が高く評価され、そのために今後の要望が弱い安定・現状満足型の施策

(図3-1) 市政評価・市政要望の類型



この類型で、今年度の調査結果を判別してみる。ここでは便宜上、市政評価と市政要望の順位を用いることとして、〔類型Ⅰ〕、〔類型Ⅱ〕、〔類型Ⅳ〕では、評価と要望のいずれかが上位 10 位以内にランクされた施策・事業をとりあげており、〔類型Ⅲ〕では、評価と要望いずれも下位 10 位以内の施策・事業としている。(表 3-1) 参照

まず、〔類型Ⅰ〕(評価・要望ともに上位 10 位以内)の追及・累進型に属する項目としては、「防犯、暴力追放運動の推進」(評価 1 位、要望 9 位)、「子育て支援の推進」(評価 3 位、要望 2 位)、「医療・衛生管理体制の充実(救急医療、感染症対策など)」(評価 4 位、要望 5 位)、「高齢社会対策の推進」(評価 9 位、要望 1 位)、「大気・騒音・水質などの環境保全」(評価 10 位、要望 8 位)の 5 つが該当する結果となった。

「防犯、暴力追放運動の推進」については、評価は前年度に引き続き 1 位と本施策・事業への取り組みに対する評価は得られており、要望は前年度 5 位から 9 位へと 4 ランク下がり、〔類型Ⅳ〕(評価が上位 10 位以内、要望が下位 10 位以内)の安定・現状満足型へと近づいていることがうかがえる。

「子育て支援の推進」については、評価は前年度と同じく 3 位となり、要望も前年度と同じく 2 位となった。「医療・衛生管理体制の充実」については、評価では前年度 5 位から 4 位へと 1 ランク上がり、要望では前年度 3 位から 5 位へと 2 ランク下がっている。この 2 つの項目については、以前として評価と要望ともに 5 位以内にランクインしており、これらは引き続き積極的な施策の推進が求められている。

「高齢社会対策の推進」については、評価は前年度 8 位から 9 位へと 1 ランク下がり、要望は前年度に引き続き 1 位となった。また、「大気・騒音・水質などの環境保全」については、評価は前年度 12 位から 10 位へと 2 ランク上がり、要望は前年度 18 位から 8 位へと 10 ランク上がった。これらは評価に従った更なる施策の推進が求められる。

〔類型Ⅱ〕(評価が下位 10 位以内、要望が上位 10 位以内)の緊要型に入る項目は、「産業の振興(企業の誘致・成長支援、雇用の促進など)」(評価 28 位、要望 3 位)である。評価は前年度の 22 位からランクを 6 つ下げ、要望は前年度に引き続き 3 位となり、喫緊の課題となっているとみられる。

〔類型Ⅲ〕(評価・要望ともに下位 10 位以内)の現状是認型とされる施策は、市政評価と要望ランクがともに低位(25~34 位)の項目であり、従来どおりの行政サービスを維持・提供することを市民が認めるものである。今回調査では、「ボランティア・NPO 活動の支援」(評価 29 位・要望 34 位)、「自然環境の保全と自然とのふれあいの推進」(評価 31 位・要望 25 位)、「人権の尊重と男女共同参画(あらゆる分野への女性の参画)の推進」(評価 32 位・要望 32 位)、「消費者被害防止対策」(評価 33 位・要望 30 位)の 4 項目が該当している。なお、付言するまでもないが、現状是認型とされる本類型は項目の比較の中でみた相対評価であり、現状に満足することなく一層の努力を続けていくことが肝要となる。

〔類型Ⅳ〕(評価が上位 10 位以内、要望が下位 10 位以内)の安定・現状満足型の施策では、「都市景観の整備(まち並みづくりと歴史的建造物の活用など)」(評価 8 位、要望 28 位)が挙げられる。この項目は、評価は前年度 11 位から 3 つランクを上げ、要望は前年度

に引き続き 28 位となっている。近年の「都市景観の整備（まち並みづくりと歴史的建造物の活用など）」に関連する諸施策が市民から評価・支持を得ていることが推察される。

(表 3-1) 市政評価と市政要望

《項目別で見た順位比較》

調査項目		評 価	要 望
子育て、 人材育成、 教育	1 子育て支援の推進	(3) .490	(2) .477
	2 学校教育の充実	(12) .149	(4) .301
	3 青少年の健全育成の推進	(30) .025	(13) .152
	4 学術の振興（学術研究都市の推進、市立大学の充実など）	(17) .086	(33) .037
	5 生涯学習の推進	(22) .071	(23) .081
健康、 安心・ 安全	6 医療・衛生管理体制の充実（救急医療、感染症対策など）	(4) .481	(5) .297
	7 防犯、暴力追放運動の推進	(1) .762	(9) .192
	8 防災体制の充実	(19) .082	(10) .178
	9 消費者被害防止対策	(33) .014	(30) .060
	10 高齢社会対策の推進	(9) .179	(1) .877
	11 障害者施策の推進	(25) .048	(15) .149
	12 健康づくりの推進（検診、予防、食育など）	(6) .321	(14) .152
	13 人権の尊重と男女共同参画（あらゆる分野への女性の参画）の推進	(32) .021	(32) .050
快適な暮らし、 文化・ スポーツ	14 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	(33) .014	(19) .120
	15 公園の整備など、緑のまちづくりの推進	(5) .413	(17) .137
	16 都市景観の整備（まち並みづくりと歴史的建造物の活用など）	(8) .182	(28) .068
	17 住宅供給の促進・快適な住環境の整備	(26) .042	(21) .105
	18 駐車対策	(27) .038	(11) .169
	19 身近な生活道路の整備	(11) .152	(6) .219
	20 芸術・文化活動の振興	(20) .080	(22) .096
	21 スポーツの振興	(16) .087	(29) .062
	22 地域コミュニティづくりの支援	(24) .062	(27) .071
	23 ボランティア・NPO活動の支援	(29) .031	(34) .028
産 業	24 市役所の窓口サービスの向上	(7) .201	(20) .114
	25 産業の振興（企業の誘致・成長支援、雇用の促進など）	(28) .036	(3) .391
都市基盤 ・物流	26 観光・コンベンション（大規模な会議など）の振興	(13) .126	(31) .057
	27 市街地の整備・再開発	(15) .101	(15) .149
	28 交通・物流（空港、港湾など）機能の強化	(18) .084	(24) .080
環 境	29 道路・交通ネットワークの整備	(14) .112	(12) .164
	30 ごみの適正処理とリサイクル	(2) .522	(18) .127
	31 大気・騒音・水質などの環境保全	(10) .162	(8) .193
	32 地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進	(21) .073	(7) .208
	33 自然環境の保全と自然とのふれあいの推進	(31) .023	(25) .077
交 流 ・ 連 携	34 アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり	(23) .067	(26) .072

注) 順位：1位3点、2位2点、3位1点を合計した順位（表1-1及び表2-1）をそのまま表示

平均スコア：1位3点、2位2点、3位1点を合計し、回答者数で割ったもの